

\*\*\*\*心理学部 心理学科\*\*\*\*

2020年度生用

---

明治学院大学履修要項  
～履修の方法を知るために～

---

2021

Meiji Gakuin University



# 目 次

明治学院大学	1
人材養成上の目的・教育目標	1
卒業の認定・学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）	1
教育課程の編成および実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）	1
はじめに	2
情報の伝達	4
学修の手引き	7
カリキュラム	8
単位制	9
履修	10
授業	13
試験	15
成績	19
卒業と学位	23
単位認定	24
明治学院大学教育連携・ボランティア・サティフィケート・プログラム	25
明治学院共通科目	27
人材養成上の目的・教育目標	29
期待される学修成果	29
教育課程の編成および実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）	29
期待される学修成果と授業科目の関連表(能力要件表)	31
明治学院共通科目履修の方法	40
履修上の注意	40
科目ナンバリングについて	41
必修科目	42
1. [コア科目]	42
2. [言語系科目]	42
3. [情報処理系科目]	43

選択科目	4 4
1. [言語系科目群]	4 4
2. [人文科学系科目群]	4 6
3. [社会科学系科目群]	4 7
4. [自然科学系科目群]	4 7
5. [情報処理系科目群]	4 8
6. [健康・スポーツ科学系科目群]	4 8
7. [総合教育系科目群]	4 8
8. [特別学科科目]	5 0
単位認定用科目	5 1
1. [短期留学認定科目]	5 1
2. [海外インターシップ 関連科目]	5 1

## 心理学科

### 《心理学部》

人材養成上の目的・教育目標	5 5
卒業の認定・学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）	5 5
教育課程の編成および実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）	5 5
<b>■心理学科</b>	
人材養成上の目的・教育目標	5 6
卒業の認定・学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）	5 6
教育課程の編成および実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）	5 6
卒業の認定・学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）と授業科目の関連表（能力要件表）	5 8
心理学科履修の方法	6 1

## 公認心理師

公認心理師の資格と職務	7 1
国家試験受験資格取得に必要な科目	7 2
公認心理師の資格取得方法について	7 4

## 教育発達学科

### 《心理学部》

人材養成上の目的・教育目標	7 7
卒業の認定・学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）	7 7
教育課程の編成および実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）	7 7
<b>■教育発達学科</b>	
人材養成上の目的・教育目標	7 8
卒業の認定・学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）	7 8

教育課程の編成および実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）	78
卒業の認定・学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）と授業科目の関連表（能力要件表）	80
教育発達学科履修の方法	83
教育職員免許状取得の方法	93

心理学部専任教員一覧	115
------------	-----

諸資格	117
-----	-----

1. 社会教育主事	119
2. 社会福祉主事	121
3. 児童福祉司	123

# 明治学院共通科目

## 人材養成上の目的・教育目標

明治学院共通科目の主たる開講責任を負う教養教育センターは、明治学院大学の「人材養成上の目的・教育目標」に基づき、明治学院大学の教養教育の「人材養成上の目的・教育目標」を次のとおり定める。

明治学院共通科目による教養教育は、世界に生起する諸問題について、他者との共生をめざし柔軟かつ誠実に対処することのできる市民的教養を有する人材の養成を目的とする。そしてその実現のために、言語系科目と諸領域科目の教育が連携し、多様な思考力と表現力を養成するための総合的な教育を推進する。

言語系科目の教育においては、コミュニケーション能力の向上と言語を育んできた自他の文化への理解を深め、自律的な学修態度を身につけることを教育目標とする。また、諸領域科目の教育においては、専門的知見の修得を通して、問題を的確に理解するための読解力や分析力、問題解決のための多面的な思考力を身につけることを教育目標とする。

## 期待される学修成果

教養教育センターは、明治学院大学の「人材養成上の目的・教育目標」に沿った人間を育成する。学生は、所定の単位を修得することにより、次の態度、知識、能力を身につけることが期待できる。

- 1 建学の精神を理解し、多様な価値観を尊重しつつ、社会参加を通して他者への貢献を志向する態度
- 2 幅広い学問分野の基礎知識を有し、現代社会が抱える諸問題に対して多面的に捉え、的確に価値の判断を行う能力
- 3 自ら発見した課題について、幅広い知見に基づいて、その解決策を適正かつ明確に提示する能力
- 4 他者とのコミュニケーションに必要な能力を身につけ、生涯にわたってそれを伸展させるための自律的学修をつづける態度

## 教育課程の編成および実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

教養教育センターは、明治学院大学の「教育課程の編成および実施に関する方針」に基づき、教養教育センターの定める「人材養成上の目的・教育目標」に沿って、「教育課程の編成および実施に関する方針」を次のとおり定める。

明治学院共通科目を、コア科目、言語系科目群、人文科学系科目群、社会科学系科目群、自然科学系科目群、情報処理系科目群、健康・スポーツ科学系科目群、総合教育系科目群の各群により構成する。効率的な教育効果を期待して、コア科目に加え、基礎、応用、発展のレベルを設定することにより、順次的、体系的な学修を促進できるように科目を編成する。

### (1) コア科目

建学の精神を理解し、他者への貢献を実現するために必要な知見の獲得を目指して、下記の科目を開講する。  
必修科目：「キリスト教の基礎」を1年次に配当する。

### (2) 言語系科目群

英語によるコミュニケーション能力の向上、初習語における基礎的運用能力の育成を目指して、下記の科目を開講する。  
必修科目：「英語コミュニケーション」を1年次に配当する。

留学生には、「日本語」科目を配当する。

選択必修：フランス語、ドイツ語、スペイン語、ロシア語、中国語、韓国語を選択言語科目として配当する。

留学生は、日本語以外の言語、もしくは、「日本語研究」を選択必修とする。

\*「日本語研究」を選択必修とするのは、法律学科・消費情報環境法学科・政治学科のみ。

自由選択：英語のウォーラー(聞く・話す)に加え、リテラシー(読む・書く)強化を目指して、「英語研究」を開講する。

初習語学修の進展を目指して、必修科目として選択した初習語のインテンシブクラスとして各言語の「演習」を開講する。また、上記の選択必修科目に加えて、イタリア語・アラビア語・タイ語の学修を目的と

した「基礎」を開講する。

初習語によるコミュニケーション能力の養成のため、「(初習)語研究」を開講する。

(3) 情報処理系科目群

選択必修：「コンピュータリテラシー」を1年次に配当する。

自由選択：「コンピュータリテラシー研究」、「情報科学」を開講する。

(4) 諸領域科目群

明治学院共通科目の期待される学修成果に示した1から4について、幅広い学問分野における知識と正確な判断力を涵養するため、「人文科学系科目」、「社会科学系科目」、「自然科学系科目」、「健康・スポーツ科学系科目」、「総合教育系科目」の各分野・領域において諸科目を開講する。各授業科目には、個別の授業テーマが提示される。

期待される学修成果と授業科目の関連表(能力要件表) (明治学院共通科目 心理学部)

学士力		知識・理解	汎用的技能	態度・志向性	統合的な学習経験と創造的思考力	
対応する「期待される学修成果」		期待される学修成果2	期待される学修成果2・4	期待される学修成果1・4	期待される学修成果3	期待される学修成果1・3
「期待される学修成果」に基づく身につく能力		現代社会が抱える諸問題を捉えるための幅広い基礎知識	多面的思考・判断力、コミュニケーション力	多様性の尊重、他者貢献、自律的学習態度	課題発見力	解決策提示力、社会参画による他者貢献
授業科目名	年次	科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力=○				
<b>必修科目</b>						
1. コア科目						
MGCHR101キリスト教の基礎A	1	◎				
MGCHR102キリスト教の基礎B	1	◎				
2. 言語系科目						
MGENG101英語コミュニケーション1A	1		◎	○		
MGENG102英語コミュニケーション1B	1		◎	○		
MGENG103英語コミュニケーション2A	1		◎	○		
MGENG104英語コミュニケーション2B	1		◎	○		
MGFRE101フランス語1A	1		◎	○		
MGFRE102フランス語1B	1		◎	○		
MGFRE103フランス語2A	1		◎	○		
MGFRE104フランス語2B	1		◎	○		
MGCHN101中国語1A	1		◎	○		
MGCHN102中国語1B	1		◎	○		
MGCHN103中国語2A	1		◎	○		
MGCHN104中国語2B	1		◎	○		
MGGER101ドイツ語1A	1		◎	○		
MGGER102ドイツ語1B	1		◎	○		
MGGER103ドイツ語2A	1		◎	○		
MGGER104ドイツ語2B	1		◎	○		
MGSPN101スペイン語1A	1		◎	○		
MGSPN102スペイン語1B	1		◎	○		
MGSPN103スペイン語2A	1		◎	○		
MGSPN104スペイン語2B	1		◎	○		
MGKOR101韓国語1A	1		◎	○		
MGKOR102韓国語1B	1		◎	○		
MGKOR103韓国語2A	1		◎	○		
MGKOR104韓国語2B	1		◎	○		
MGJPN101日本語1A	1		◎	○		
MGJPN102日本語1B	1		◎	○		
MGJPN103日本語2A	1		◎	○		
MGJPN104日本語2B	1		◎	○		
3. 情報処理系科目						
MGCOM101コンピュータリテラシー-1	1	◎	○		○	
MGCOM102コンピュータリテラシー-2	1	◎	○		○	
<b>選択科目</b>						
1. 言語系科目群						
MGFRE111フランス語演習初級A	1		◎	○		
MGFRE112フランス語演習初級B	1		◎	○		
MGFRE221フランス語演習中級A	1		◎	○	○	
MGFRE222フランス語演習中級B	1		◎	○	○	
MGCHN111中国語演習初級A	1		◎	○		
MGCHN112中国語演習初級B	1		◎	○		
MGCHN221中国語演習中級A	1		◎	○	○	
MGCHN222中国語演習中級B	1		◎	○	○	
MGGER111ドイツ語演習初級A	1		◎	○		
MGGER112ドイツ語演習初級B	1		◎	○		
MGGER221ドイツ語演習中級A	1		◎	○	○	
MGGER222ドイツ語演習中級B	1		◎	○	○	
MGSPN111スペイン語演習初級A	1		◎	○		
MGSPN112スペイン語演習初級B	1		◎	○		
MGSPN221スペイン語演習中級A	1		◎	○	○	
MGSPN222スペイン語演習中級B	1		◎	○	○	
MGKOR111韓国語演習初級A	1		◎	○		
MGKOR112韓国語演習初級B	1		◎	○		
MGKOR221韓国語演習中級A	1		◎	○	○	

学士力		知識・理解	汎用的技能	態度・志向性	統合的な学習経験と 創造的思考力	
対応する「期待される学修成果」		期待される学修成果2	期待される学修成果2・4	期待される学修成果1・4	期待される学修成果3	期待される学修成果 1・3
「期待される学修成果」に基づく 身につく能力		現代社会が抱える諸問題 を捉えるための幅広い 基礎知識	多面的思考・判断力、コ ミュニケーション力	多様性の尊重、他者貢献、自 律的学習態度	課題発見力	解決策提示力、社会 参画による他者貢献
授業科目名	年次	科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力=○				
MGKOR222韓国語演習中級B	1		◎	○	○	
MGENG201英語特別研究A	1		◎	○		
MGENG202英語特別研究B	1		◎	○		
MGENG211英語研究1A	2	○	◎	○		
MGENG212英語研究1B	2	○	◎	○		
MGENG213英語研究2A	2	○	◎	○		
MGENG214英語研究2B	2	○	◎	○		
MGENG215英語研究3A	2	○	◎	○	○	
MGENG216英語研究3B	2	○	◎	○	○	
MGFRE211フランス語研究1A	2		◎	○	○	
MGFRE212フランス語研究1B	2		◎	○	○	
MGFRE213フランス語研究2A	2		◎	○	○	
MGFRE214フランス語研究2B	2		◎	○	○	
MGFRE315フランス語研究3A	2	○	◎	○	○	
MGFRE316フランス語研究3B	2	○	◎	○	○	
MGFRE317フランス語研究4A	3	○	◎	○	○	
MGFRE318フランス語研究4B	3	○	◎	○	○	
MGCHN211中国語研究1A	2		◎	○	○	
MGCHN212中国語研究1B	2		◎	○	○	
MGCHN213中国語研究2A	2		◎	○	○	
MGCHN214中国語研究2B	2		◎	○	○	
MGCHN315中国語研究3A	2	○	◎	○	○	
MGCHN316中国語研究3B	2	○	◎	○	○	
MGCHN317中国語研究4A	3	○	◎	○	○	
MGCHN318中国語研究4B	3	○	◎	○	○	
MGGER211ドイツ語研究1A	2		◎	○	○	
MGGER212ドイツ語研究1B	2		◎	○	○	
MGGER213ドイツ語研究2A	2		◎	○	○	
MGGER214ドイツ語研究2B	2		◎	○	○	
MGGER315ドイツ語研究3A	2	○	◎	○	○	
MGGER316ドイツ語研究3B	2	○	◎	○	○	
MGGER317ドイツ語研究4A	3	○	◎	○	○	
MGGER318ドイツ語研究4B	3	○	◎	○	○	
MGSPN211スペイン語研究1A	2		◎	○	○	
MGSPN212スペイン語研究1B	2		◎	○	○	
MGSPN213スペイン語研究2A	2		◎	○	○	
MGSPN214スペイン語研究2B	2		◎	○	○	
MGSPN315スペイン語研究3A	2	○	◎	○	○	
MGSPN316スペイン語研究3B	2	○	◎	○	○	
MGSPN317スペイン語研究4A	3	○	◎	○	○	
MGSPN318スペイン語研究4B	3	○	◎	○	○	
MGRUS211ロシア語研究1A	2		◎	○	○	
MGRUS212ロシア語研究1B	2		◎	○	○	
MGRUS213ロシア語研究2A	2		◎	○	○	
MGRUS214ロシア語研究2B	2		◎	○	○	
MGRUS315ロシア語研究3A	2	○	◎	○	○	
MGRUS316ロシア語研究3B	2	○	◎	○	○	
MGRUS317ロシア語研究4A	3	○	◎	○	○	
MGRUS318ロシア語研究4B	3	○	◎	○	○	
MGKOR211韓国語研究1A	2		◎	○	○	
MGKOR212韓国語研究1B	2		◎	○	○	
MGKOR213韓国語研究2A	2		◎	○	○	
MGKOR214韓国語研究2B	2		◎	○	○	
MGKOR315韓国語研究3A	2	○	◎	○	○	
MGKOR316韓国語研究3B	2	○	◎	○	○	
MGKOR317韓国語研究4A	3	○	◎	○	○	
MGKOR318韓国語研究4B	3	○	◎	○	○	
MGFRE205フランス語3A	1		◎	○		
MGFRE206フランス語3B	1		◎	○		

学士力		知識・理解	汎用的技能	態度・志向性	統合的な学習経験と創造的思考力	
対応する「期待される学修成果」		期待される学修成果2	期待される学修成果2・4	期待される学修成果1・4	期待される学修成果3	期待される学修成果1・3
「期待される学修成果」に基づく身につく能力		現代社会が抱える諸問題を捉えるための幅広い基礎知識	多面的思考・判断力、コミュニケーション力	多様性の尊重、他者貢献、自律的学習態度	課題発見力	解決策提示力、社会参画による他者貢献
授業科目名	年次	科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力=○				
MGFRE207フランス語4A	1		◎	○		
MGFRE208フランス語4B	1		◎	○	○	
MGCHN205中国語3A	1		◎	○		
MGCHN206中国語3B	1		◎	○		
MGCHN207中国語4A	1		◎	○		
MGCHN208中国語4B	1		◎	○		
MGGER205ドイツ語3A	1		◎	○		
MGGER206ドイツ語3B	1		◎	○		
MGGER207ドイツ語4A	1		◎	○		
MGGER208ドイツ語4B	1		◎	○		
MGSPN205スペイン語3A	1		◎	○		
MGSPN206スペイン語3B	1		◎	○		
MGSPN207スペイン語4A	1		◎	○		
MGSPN208スペイン語4B	1		◎	○		
MGKOR205韓国語3A	1		◎	○		
MGKOR206韓国語3B	1		◎	○		
MGKOR207韓国語4A	1		◎	○		
MGKOR208韓国語4B	1		◎	○		
MGITA101イタリア語の基礎A	1		◎	○		
MGITA102イタリア語の基礎B	1		◎	○		
MGARB101アラビア語の基礎A	1		◎	○		
MGARB102アラビア語の基礎B	1		◎	○		
MGTHA101タイ語の基礎A	1		◎	○		
MGTHA102タイ語の基礎B	1		◎	○		
MGGRE101ギリシア語研究A	1		◎	○		
MGGRE102ギリシア語研究B	1		◎	○		
MGLAT101ラテン語研究A	1		◎	○		
MGLAT102ラテン語研究B	1		◎	○		
MGSIG101手話1	1		◎	○		
MGSIG202手話2	1		◎	○		
MGEUC101ヨロバ語圏の文化入門1	1	◎	○	○		
MGEUC102ヨロバ語圏の文化入門2	1	◎	○	○		
MGEUC103ヨロバ語圏の文化入門3	1	◎	○	○		
MGEUC104ヨロバ語圏の文化入門4	1	◎	○	○		
MGEUC105ヨロバ語圏の文化入門5	1	◎	○	○		
MGEUC106ヨロバ語圏の文化入門6	1	◎	○	○		
MGEUC111ヨロバ語圏の文化各論1	1	◎	○	○		
MGEUC112ヨロバ語圏の文化各論2	1	◎	○	○		
MGEUC113ヨロバ語圏の文化各論3	1	◎	○	○		
MGEUC114ヨロバ語圏の文化各論4	1	◎	○	○		
MGEUC115ヨロバ語圏の文化各論5	1	◎	○	○		
MGEUC116ヨロバ語圏の文化各論6	1	◎	○	○		
MGASC101アフリカ言語圏の文化入門1	1	◎	○	○		
MGASC102アフリカ言語圏の文化入門2	1	◎	○	○		
MGASC103アフリカ言語圏の文化入門3	1	◎	○	○		
MGASC104アフリカ言語圏の文化入門4	1	◎	○	○		
MGASC111アフリカ言語圏の文化各論1	1	◎	○	○		
MGASC112アフリカ言語圏の文化各論2	1	◎	○	○		
MGASC113アフリカ言語圏の文化各論3	1	◎	○	○		
MGASC114アフリカ言語圏の文化各論4	1	◎	○	○		
MGJPN205日本語3A	2		◎	○		
MGJPN206日本語3B	2		◎	○		
MGJPN207日本語4A	2		◎	○		
MGJPN208日本語4B	2		◎	○		
MGJPN211日本語研究1A	2		◎	○		
MGJPN212日本語研究1B	2		◎	○		
MGJPN213日本語研究2A	2		◎	○		
MGJPN214日本語研究2B	2		◎	○		
MGJPN215日本語研究3A	2		◎	○		

学士力		知識・理解	汎用的技能	態度・志向性	統合的な学習経験と創造的思考力	
対応する「期待される学修成果」		期待される学修成果2	期待される学修成果2・4	期待される学修成果1・4	期待される学修成果3	期待される学修成果1・3
「期待される学修成果」に基づく身につく能力		現代社会が抱える諸問題を捉えるための幅広い基礎知識	多面的思考・判断力、コミュニケーション力	多様性の尊重、他者貢献、自律的学習態度	課題発見力	解決策提示力、社会参画による他者貢献
授業科目名	年次	科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力=○				
MGJPN216日本語研究3B	2		◎	○		
2. 人文科学系科目群						
MGCHR201聖書の世界1	2	◎				
MGCHR202聖書の世界2	2	◎				
MGCHR203聖書の世界3	2	◎				
MGCHR204聖書の世界4	2	◎				
MGCHR211キリスト教の思想と文化1	1			◎		
MGCHR212キリスト教の思想と文化2	1			◎		
MGCHR213キリスト教の思想と文化3	1			◎		
MGCHR214キリスト教の思想と文化4	1			◎		
MGCHR221宗教史1	1	◎				
MGCHR222宗教史2	1	◎				
MGCHR223宗教史3	1	◎				
MGCHR224宗教史4	1	◎				
MGCHR231現代社会とキリスト教1	1				○	◎
MGCHR232現代社会とキリスト教2	1				○	◎
MGCHR233現代社会とキリスト教3	1				○	◎
MGCHR234現代社会とキリスト教4	1				○	◎
MGPHI101哲学史1	1	◎	○	○	○	
MGPHI102哲学史2	1	◎	○	○	○	
MGPHI201哲学各論1	1	○	◎	○	○	
MGPHI202哲学各論2	1	○	◎	○	○	
MGPHI211科学思想1	1	○	◎	○	○	
MGPHI212科学思想2	1	○	◎	○	○	
MGETH101倫理学入門1	1	◎	○	○	○	
MGETH102倫理学入門2	1	◎	○	○	○	
MGETH201倫理学各論1	1	○	◎	○	○	
MGETH202倫理学各論2	1	○	◎	○	○	
MGETH203倫理学各論3	1	○	◎	○	○	
MGETH204倫理学各論4	1	○	◎	○	○	
MGLOG101論理学概論1	1	◎	○	○	○	
MGLOG102論理学概論2	1	◎	○	○	○	
MGLOG201伝統論理学1	1	○	◎	○	○	
MGLOG202伝統論理学2	1	○	◎	○	○	
MGLOG211現代論理学1	1	○	◎	○	○	
MGLOG212現代論理学2	1	○	◎	○	○	
MGLIN101言語科学の基礎1	1	◎	○	○	○	
MGLIN102言語科学の基礎2	1	◎	○	○	○	
MGLIN103言語科学の基礎3	1	◎	○	○	○	
MGLIN104言語科学の基礎4	1	◎	○	○	○	
MGPSY101心理学入門1	1	◎	○		○	
MGPSY102心理学入門2	1	◎	○		○	
MGPSY201心理学各論1	2	○	◎		○	
MGPSY202心理学各論2	2	○	◎		○	
MGPSY203心理学各論3	2	○	◎		○	
MGPSY204心理学各論4	2	○	◎		○	
MGEDU101教育学の基礎1	1	◎				
MGEDU102教育学の基礎2	1	◎				
MGART101芸術学の基礎1	1	◎	○			
MGART102芸術学の基礎2	1	◎	○			
MGART201芸術学各論1	1	◎	○			
MGART202芸術学各論2	1	◎	○			
MGART203芸術学各論3	1	◎	○			
MGART204芸術学各論4	1	◎	○			
MGART205芸術学各論5	1	◎	○			
MGART206芸術学各論6	1	◎	○			
MGJPL101日本文学概論1	1	◎	○	○		
MGJPL102日本文学概論2	1	◎	○	○		
MGJPL201日本文学講読1	1	○	○	◎		

学士力		知識・理解	汎用的技能	態度・志向性	統合的な学習経験と創造的思考力	
対応する「期待される学修成果」		期待される学修成果2	期待される学修成果2・4	期待される学修成果1・4	期待される学修成果3	期待される学修成果1・3
「期待される学修成果」に基づく身につく能力		現代社会が抱える諸問題を捉えるための幅広い基礎知識	多面的思考・判断力、コミュニケーション力	多様性の尊重、他者貢献、自律的学習態度	課題発見力	解決策提示力、社会参画による他者貢献
授業科目名	年次	科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力=○				
MGJPL202日本文学講読2	1	○	○	◎		
MGJPL203日本文学講読3	1	○	○	◎		
MGJPL204日本文学講読4	1	○	○	◎		
MGJPS101日本文化論入門1	1	◎		○		○
MGJPS102日本文化論入門2	1	◎		○		○
MGJPS103日本文化論入門3	1	◎		○		○
MGJPS104日本文化論入門4	1	◎		○		○
MGJPS201日本文化特論1	1			◎		○
MGJPS202日本文化特論2	1			◎		○
3. 社会科学系科目群						
MGLAW101法学(日本国憲法を含む) 1	1	◎	○		○	○
MGLAW102法学(日本国憲法を含む) 2	1	◎	○		○	○
MGPOS101政治学1	1	◎	○		○	○
MGPOS102政治学2	1	◎	○		○	○
MGSOC101社会学理論の基礎1	1	○	◎	○		
MGSOC102社会学理論の基礎2	1	○	◎	○		
MGSOC111文化とメディアの社会学入門1	1		◎	○		
MGSOC112文化とメディアの社会学入門2	1		◎	○		
MGSOC121生命とアイデンティティの社会学入門1	1		◎	○		
MGSOC122生命とアイデンティティの社会学入門2	1		◎	○		
MGSOC131環境とコミュニティの社会学入門1	1		◎	○		
MGSOC132環境とコミュニティの社会学入門2	1		◎	○		
MGSWS101社会福祉学1	1	◎		○		○
MGSWS102社会福祉学2	1	◎		○		○
MGECON101経済学1	1	◎		○	○	○
MGECON102経済学2	1	◎		○	○	○
MGSTA101統計学1	1	◎				○
MGSTA102統計学2	1	◎				○
MGSTA103統計学3	1	◎				○
MGSTA104統計学4	1	◎				○
MGHIS201歴史学1	1	○	○	◎		○
MGHIS202歴史学2	1	○	○	◎		○
MGHIS203歴史学3	1	○	○	◎		○
MGHIS204歴史学4	1	○	○	◎		○
MGHIS205歴史学5	1	○	○	◎		○
MGHIS206歴史学6	1	○	○	◎		○
MGHIS211歴史学の世界1	1	○	○	◎		○
MGHIS212歴史学の世界2	1	○	○	◎		○
MGGE0101人文地理学入門1	1	◎	○			
MGGE0102人文地理学入門2	1	◎	○			
MGGE0201人文地理学1	1	○	◎	○		
MGGE0202人文地理学2	1	○	◎	○		
MGGE0203人文地理学3	1	○	◎	○		
MGGE0204人文地理学4	1	○	◎	○		
MGGE0205人文地理学5	1	○	◎	○		
MGGE0206人文地理学6	1	○	◎	○		
MGANT101文化人類学入門1	1	○	○	◎		○
MGANT102文化人類学入門2	1	○	○	◎		○
MGANT201文化人類学各論1	1	○	○	◎		○
MGANT202文化人類学各論2	1	○	○	◎		○
MGSOS101社会科学概論1	1	○	○	◎		○
MGSOS102社会科学概論2	1	○	○	◎		○
MGSOS103社会科学概論3	1	○	○	◎		○
MGSOS104社会科学概論4	1	○	○	◎		○
4. 自然科学系科目群						
MGMAT101数学入門1	1	◎	○		○	
MGMAT102数学入門2	1	◎	○		○	
MGMAT111数学1	1	◎	○		○	
MGMAT112数学2	1	◎	○		○	

学士力		知識・理解	汎用的技能	態度・志向性	統合的な学習経験と 創造的思考力	
対応する「期待される学修成果」		期待される学修成果2	期待される学修成果2・4	期待される学修成果1・4	期待される学修成果3	期待される学修成果 1・3
「期待される学修成果」に基づく 身につく能力		現代社会が抱える諸問題 を捉えるための幅広い 基礎知識	多面的思考・判断力、コ ミュニケーション力	多様性の尊重、他者貢献、自 律的学習態度	課題発見力	解決策提示力、社会 参画による他者貢献
授業科目名	年次	科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力=○				
MGMAT113数学3	1	◎	○		○	
MGMAT114数学4	1	◎	○		○	
MGMAT211数学特論1	1	○	○		◎	
MGMAT212数学特論2	1	○	○		◎	
MGPHY101物理学入門1	1	◎	○		○	○
MGPHY102物理学入門2	1	◎	○		○	○
MGPHY103物理学入門3	1	◎	○		○	○
MGPHY201現代の物理学1	1	◎	○		○	○
MGPHY202現代の物理学2	1	◎	○		○	○
MGPHY203現代の物理学3	1	◎	○		○	○
MGPHY211物理学特論	1	○	○		○	◎
MGPHY121物理学方法論A	1	○	○		○	◎
MGPHY122物理学方法論B	1	○	○		○	◎
MGCHE101化学入門1	1	◎	○			
MGCHE102化学入門2	1	◎	○			
MGCHE201現代の化学1	1	◎	○			
MGCHE202現代の化学2	1	◎	○			
MGCHE203現代の化学3	1	◎	○			
MGCHE204現代の化学4	1	◎	○			
MGCHE121化学方法論A	1	○			○	◎
MGCHE122化学方法論B	1	○			○	◎
MGBIO101生物学入門1	1	◎	○		○	○
MGBIO102生物学入門2	1	◎	○		○	○
MGBIO201現代の生物学1	1	◎	○		○	○
MGBIO202現代の生物学2	1	◎	○		○	○
MGBIO203現代の生物学3	1	◎	○		○	○
MGBIO204現代の生物学4	1	◎	○		○	○
MGBIO205現代の生物学5	1	◎	○		○	○
MGBIO211生物学特論	1	○	○		○	◎
MGBIO121生物学方法論A	1	○	○		○	◎
MGBIO122生物学方法論B	1	○	○		○	◎
MGLIS101生命科学入門1	1	◎	○			
MGLIS102生命科学入門2	1	◎	○			
MGLIS201生命科学各論1	1	◎	○			
MGLIS202生命科学各論2	1	◎	○			
MGLIS203生命科学各論3	1	◎	○			
MGLIS211生命科学特論	1	○	○		○	◎
MGLIS121生命科学方法論A	1	○	○		○	◎
MGLIS122生命科学方法論B	1	○	○		○	◎
5. 情報処理系科目群						
MGCOM201コンピュータリテラシー研究1A	1	◎	○		○	
MGCOM202コンピュータリテラシー研究1B	1	◎	○		○	
MGCOM203コンピュータリテラシー研究2A	1	◎	○		○	
MGCOM204コンピュータリテラシー研究2B	1	◎	○		○	
MGCOM211情報科学1	1	◎	○		○	
MGCOM212情報科学2	1	◎	○		○	
MGCOM213情報科学3	1	◎	○		○	
MGCOM214情報科学4	1	◎	○		○	
6. 健康・スポーツ科学系科目群						
MGHSS101健康科学概論1	1	◎			○	○
MGHSS102健康科学概論2	1	◎			○	○
MGHSS111スポーツ科学概論1	1	◎			○	○
MGHSS112スポーツ科学概論2	1	◎			○	○
MGHSS121スポーツ社会学概論1	1	◎			○	○
MGHSS122スポーツ社会学概論2	1	◎			○	○
MGHSS131スポーツ方法学1	1		◎	○	○	○
MGHSS132スポーツ方法学2	1		◎	○	○	○
MGHSS133スポーツ方法学3	1		◎	○	○	○
MGHSS134スポーツ方法学4	1		◎	○	○	○



学士力		知識・理解	汎用的技能	態度・志向性	統合的な学習経験と 創造的思考力	
対応する「期待される学修成果」		期待される学修成果2	期待される学修成果2・4	期待される学修成果1・4	期待される学修成果3	期待される学修成果1・3
「期待される学修成果」に基づく 身につく能力		現代社会が抱える諸問題を捉えるための幅広い基礎知識	多面的思考・判断力、コミュニケーション力	多様性の尊重、他者貢献、自律的学習態度	課題発見力	解決策提示力、社会参画による他者貢献
授業科目名	年次	科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力=○				
MGVOL223ホランティア・市民活動論(国内)1B	1			○	◎	○
MGVOL224ホランティア・市民活動論(海外)2B	2			○	◎	○
MGVOL231ホランティア・市民活動実習(国内)	1			○	○	◎
MGVOL232ホランティア・市民活動実習(海外)	2			○	○	◎
MGVOL301ホランティア・市民活動研究(国内)	2		○		◎	○
MGVOL302ホランティア・市民活動研究(海外)	2		○		◎	○
MGACW101アガテミックライティングの基礎	1		◎	○	○	
MGACW201アガテミックライティング演習1	1		◎	○	○	
MGLCD101ライティング・ザイン1	1		○	○	◎	○
MGLCD202ライティング・ザイン2	2		○	○	◎	○
MGLCD203ライティング・ザイン3	3		○	○	◎	○
MGLCD204ライティング・ザイン4	3		○	○	◎	○
MGLCD111キャリアデザイン1	2		○	◎	○	○
MGLCD121キャリアデザイン2	2		○	◎	○	○
MGSEM301アジヤ・日本研究A	3		◎	○	○	○
MGSEM302アジヤ・日本研究B	3		◎	○	○	○
MGSEM311ヨーロッパ文化圏研究A	3		◎	○	○	○
MGSEM312ヨーロッパ文化圏研究B	3		◎	○	○	○
MGSEM321現代科学研究A	3		○	○	◎	○
MGSEM322現代科学研究B	3		○	○	◎	○
MGSEM331現代社会研究A	3		◎	○	○	○
MGSEM332現代社会研究B	3		◎	○	○	○
MGP101オカルション実習1	2	◎				
MGP102オカルション実習2	2	◎				
MGINT201Japanese Arts and Culture 1	1	◎	○	○		
MGINT202Japanese Arts and Culture 2	1	◎	○	○		
MGINT203Japanese Arts and Culture 3	1	◎	○	○		
MGINT204Japanese Arts and Culture 4	1	◎	○	○		
MGINT205Japanese Arts and Culture 5	1	◎	○	○		
MGINT206Japanese Arts and Culture 6	1	◎	○	○		
MGINT211Japanese History 1	1	◎	○	○		
MGINT212Japanese History 2	1	◎	○	○		
MGINT213Japanese History 3	1	◎	○	○		
MGINT214Japanese History 4	1	◎	○	○		
MGINT215Japanese History 5	1	◎	○	○		
MGINT216Japanese History 6	1	◎	○	○		
MGINT221Japanese Society 1	1	◎	○	○		
MGINT222Japanese Society 2	1	◎	○	○		
MGINT223Japanese Society 3	1	◎	○	○		
MGINT224Japanese Society 4	1	◎	○	○		
MGINT225Japanese Society 5	1	◎	○	○		
MGINT226Japanese Society 6	1	◎	○	○		
MGINT231Multilingualism and Multiculturalism 1	1	◎	○	○		
MGINT232Multilingualism and Multiculturalism 2	1	◎	○	○		
MGINT233Multilingualism and Multiculturalism 3	1	◎	○	○		
MGINT234Multilingualism and Multiculturalism 4	1	◎	○	○		
MGINT241Current Issues 1	1	◎	○	○		
MGINT242Current Issues 2	1	◎	○	○		
MGINT243Current Issues 3	1	◎	○	○		
MGINT244Current Issues 4	1	◎	○	○		
MGCCS111異文化コミュニケーション研究A	1		○	◎	○	
MGCCS112異文化コミュニケーション研究B	1		○	◎	○	
留学生関連科目						
MGCCS101日本の社会と文化1A	1		○	◎	○	
MGCCS102日本の社会と文化1B	1		○	◎	○	
MGCCS103日本の社会と文化2A	1		○	◎	○	
MGCCS104日本の社会と文化2B	1		○	◎	○	
MGCCS105日本の社会と文化3A	1		○	◎	○	
MGCCS106日本の社会と文化3B	1		○	◎	○	

学士力		知識・理解	汎用的技能	態度・志向性	統合的な学習経験と 創造的思考力	
対応する「期待される学修成果」		期待される学修成果2	期待される学修成果2・4	期待される学修成果1・4	期待される学修成果3	期待される学修成果 1・3
「期待される学修成果」に基づく 身につく能力		現代社会が抱える諸問題 を捉えるための幅広い 基礎知識	多面的思考・判断力、コ ミュニケーション力	多様性の尊重、他者貢献、自 律的学習態度	課題発見力	解決策提示力、社会 参画による他者貢献
授業科目名		年次	科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力=○			
MGACW2027カダミク・ライティング演習2(留学生専用)		1	◎	○	○	
8. 特別学教科目						
社会学概論A		1	◎	○	○	
社会学概論B		1	◎	○	○	
単位認定用科目						
1. 短期留学認定科目						
MGRES101ヨーロッパ研究(短期留学)		1	○	◎	○	
MGRES102イギリス研究(短期留学)		1	○	◎	○	
MGRES103スペイン研究(短期留学)		1	○	◎	○	
MGRES104ドイツ研究(短期留学)		1	○	◎	○	
MGRES105フランス研究(短期留学)		1	○	◎	○	
MGRES106アメリカ研究(短期留学)		1	○	◎	○	
MGRES107カナダ研究(短期留学)		1	○	◎	○	
MGRES108韓国研究(短期留学)		1	○	◎	○	
MGRES109中国研究(短期留学)		1	○	◎	○	
MGRES110オーストラリア研究(短期留学)		1	○	◎	○	
MGRES111東南アジア研究(短期留学)		1	○	◎	○	
2. 海外インターンシップ 関連科目						
MGITS101海外インターンシップ 課題研究A		1	○	○	○	◎
MGITS102海外インターンシップ 課題研究B		1	○	○	○	◎
MGITS201海外インターンシップ A		1	○	○	○	◎
MGITS202海外インターンシップ B		1	○	○	○	◎

# 明治学院共通科目履修の方法

本学の授業科目は、学科科目と共通科目によって構成されており、それぞれについて卒業のために必要とされる修得単位数等が定められている。学生は、学科の定めるところに従いつつ、4年間にわたる自らの学修計画を決定しなければならない。以下は、「明治学院共通科目」の科目名と履修上の諸注意である。学生諸君には、下記の記載事項を精読して、履修登録上の事故を未然に防ぐとともに、自らの教養を高めるために有用な授業科目を見出すことを切に期待する。

## [履修上の注意]

- ①A・Bあるいは1～6はそれぞれ独立した科目である。なお、原則としてA・Bは、同一曜時限の同一担当者のクラスを履修することとし、同一曜時限に複数クラスが開講されている場合にも、いずれか1クラスを定めて履修するものとする。
- ②A・Bは原則としてその順序で履修する（いずれかのみ履修の可否、あるいは両方の履修の要否は科目ごとに指示することとするが、1～6は特に指示された場合を除き、どの順序で履修しても差し支えない。また、1～6の全てを履修する必要はない。なお、同学期中に1～6の番号の異なる複数の授業を履修してもよい。
- ③以下の表の配当年次とは、その科目を履修できる下限の年次を示したものである。1年次配当科目とは、1年次以上の学生が履修できることを意味している。
- ④特に指示がある科目を除き、同一科目が異なる曜時限に複数開講されている場合でも、履修できるのは1つだけである。（例：「キリスト教の思想と文化1」が月曜1限と月曜2限に開講されている場合、履修できるのは片方のみ）
- ⑤修得可能な単位数は、学科ごとに定められている。『履修要項』での説明を参照すること。
- ⑥履修可能なクラスの開講学期等については、Port Hepburnの時間割表（開講科目情報）で、各自が所属する学科・入学年度の時間割表を参照すること。
- ⑦学生は自身の興味関心にしたがって所定のルール範囲内で自由に履修することができるが、関連する科目を有機的に履修することにより、学修の幅をもたせることが可能である。その理想的な「モデル」として各テーマに沿った「仮想コース」（「アジア地域研究入門コース」・「Do for Others とボランティア・市民活動コース」・「多文化共生コース」・「持続可能な社会コース」）が設定されている。なお、詳細は教養教育センターホームページを参照すること。
- ⑧教育発達学科生については、明治学院共通科目の実習等の日程が学科科目のそれと重複した場合は学科科目を優先とし、学科科目の欠席事由として配慮しない。また、この場合、明治学院共通科目については履修削除とはしないので注意すること。

## [科目ナンバリングについて]

明治学院共通科目には科目ナンバリングが付番される。その意味は下記のとおりとなる。

MG	+	●●●	+	<u>1 ~ 3</u>	+	<u>0 ~ 9</u>	+	<u>1 ~ 9</u>
固有記号		科目群の略称 (アルファベット3文字)		科目のレベル (百の位)		科目群内の連続番号 (十の位以下)		

科目のレベルについては、以下のとおりである。

1 : 基礎 2 : 応用 3 : 発展

レベル2以上の科目を履修する場合は、その下位レベルの科目を履修または単位修得していることが望ましい。

科目例 : MGCHR101 キリスト教の基礎 A

MG	+	CHR	+	1	+	01	+	キリスト教の基礎 A
固有記号		科目群の略称		レベル		連続番号		科目名

# [必修科目]

必修および選択必修科目。以下の科目 1～3 について、それぞれ所定の単位を修得すること。

## 1. [コア科目]

全学必修の初学教関連科目。A・Bそれぞれ2単位、計4単位を修得しなければならない。

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGCHR	101～102	キリスト教の基礎 A・B	1	各 2	1 年次

## 2. [言語系科目]

必修である英語科目と選択必修の初習語科目。

- ・英語科目については、「英語コミュニケーション」1A・1B、2A・2Bそれぞれ各1単位、計4単位を修得しなければならない。
- ・初習語とは、フランス語、中国語、ドイツ語、スペイン語、韓国語をいう。いずれか1言語を選択し、その言語について1A・1B、2A・2Bの各1単位、計4単位を修得しなければならない。可能な限り1年次での履修と単位修得が望ましい。
- ・「日本語」1A・1B、2A・2Bは留学生のための必修外国語科目であり、一般学生は履修することができない。留学生は「日本語」1A・1B、2A・2B 4単位を必修とし、さらに日本語以外の言語（同一言語、ただし母語は除く）から4単位を必修とする。
- ・原則として、入学時に選択した「初習語」は他の言語へ変更することはできない。ただし、特別の事情があり、オリエンテーション期間に申し出た者については、科目責任者が判断する。

### 言語系必修・選択必修科目

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGENG	101～104	英語コミュニケーション 1A・1B・2A・2B	1	各 1	1 年次
MGFRE	101～104	フランス語 1A・1B・2A・2B	1	各 1	1 年次
MGCHN	101～104	中国語 1A・1B・2A・2B	1	各 1	1 年次
MGER	101～104	ドイツ語 1A・1B・2A・2B	1	各 1	1 年次
MGSPN	101～104	スペイン語 1A・1B・2A・2B	1	各 1	1 年次
MKGOR	101～104	韓国語 1A・1B・2A・2B	1	各 1	1 年次
MGJPN	101～104	日本語 1A・1B・2A・2B	1	各 1	1 年次

- ・英語以外の言語について、大学入学以前に既に学習している言語を選択する際には必ず教務課窓口に相談すること。
- ・相談の結果、許可された者は上記の言語 1A・1B・2A・2B ではなく、3A・3B・4A・4B を選択必修科目として履修することになる。

### 3. [情報処理系科目]

コンピュータに関する選択必修科目。

- ・「コンピュータリテラシー」1は入門クラス、「コンピュータリテラシー」2は初級クラスである。学生は、自らの習熟度を判断して1または2を選択し、2単位を修得しなければならない。なお、それぞれの授業内容については、シラバスを参照すること。
- ・入学時に中級以上の技能を有する学生については、情報処理系科目群「コンピュータリテラシー研究」1A・1B・2A・2Bから2単位を修得することにより、必修の2単位に振り替えることができる（ただし、教育発達学科生は除く）。

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGCOM	101～102	コンピュータリテラシー 1・2	1	各 2	1 年次

## [選択科目]

以下の諸科目から自由に選択して履修することができる。多様な科目を選択してもよいし、同一分野の科目を集中的に選択してもよい。学生それぞれの関心に即して履修計画を立てることが可能である。

- ・各科目ごとの内容は、シラバスに（授業テーマを付して）公表される。履修に際してはそれらを参照すること。
- ・履修者数が制限されることがあるので、履修希望者はシラバスを参照すること。

### 1. [言語系科目群]

※A・Bは独立した科目であるが、可能な限り同一曜時間の同一担当者のクラスを履修することとし、同一曜時間に複数クラスが開講されている場合にも、いずれか1クラスを定めて履修するものとする。

#### 「〇〇語演習」

- ・必修科目として選択した初習語と同じ言語について、コミュニケーション力向上を目指す。
- ・この科目の単位修得をもって、初習語必修単位に振り替えることはできない。
- ・「〇〇語」3A・3B・4A・4Bを選択必修科目として履修を許可された者は、同一言語の「〇〇語演習初級」A・Bは履修できない。

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGFRE	111～112	フランス語演習初級 A・B	1	各1	1年次
	221～222	フランス語演習中級 A・B	2	各1	1年次
MGCHN	111～112	中国語演習初級 A・B	1	各1	1年次
	221～222	中国語演習中級 A・B	2	各1	1年次
MGGER	111～112	ドイツ語演習初級 A・B	1	各1	1年次
	221～222	ドイツ語演習中級 A・B	2	各1	1年次
MGSPN	111～112	スペイン語演習初級 A・B	1	各1	1年次
	221～222	スペイン語演習中級 A・B	2	各1	1年次
MGKOR	111～112	韓国語演習初級 A・B	1	各1	1年次
	221～222	韓国語演習中級 A・B	2	各1	1年次

#### 「〇〇語研究」・「〇〇語特別研究」

- ・英語および必修科目で選択した初習語について、次年度以降も学修を継続することを希望する学生のためのインテングラスである。「〇〇語研究」1A・1B、2A・2B、3A・3Bは2年次から、「〇〇語研究」4A・4Bは3年次以上から履修が可能となる。いずれも各学期2単位科目である。
- ・履修に際し一定の語学力が必要とされるため、「英語コミュニケーション」1A・1B、2A・2Bの計4単位を未修得の者が、以下の「英語研究」を履修することは望ましくない。また、「英語コミュニケーション」が必修ではない学生が履修を希望する場合は、初回の授業に必ず出席して履修許可を得ることが必要である。
- ・必修科目で選択した「初習語」1A・1B、2A・2Bの計4単位を未修得の者が、以下の「〇〇語研究」を履修することは望ましくない。
- ・「英語特別研究」A・Bは、1年次で「英語コミュニケーション」に加えてリテラー（読み・書き）を強化することを希望する学生のためのインテングラスである（英文学科、国際学科、国際キャリア学科を除く）。
- ・これらの科目の単位修得をもって、初習語必修単位に振り替えることはできない。

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGENG	201～202	英語特別研究 A・B	2	各 2	1 年次
	211～216	英語研究 1A・1B・2A・2B・3A・3B	2	各 2	2 年次
MGFRE	211～214	フランス語研究 1A・1B・2A・2B	2	各 2	2 年次
	315～316	フランス語研究 3A・3B	3	各 2	2 年次
	317～318	フランス語研究 4A・4B	3	各 2	3 年次
MGCHN	211～214	中国語研究 1A・1B・2A・2B	2	各 2	2 年次
	315～316	中国語研究 3A・3B	3	各 2	2 年次
	317～318	中国語研究 4A・4B	3	各 2	3 年次
MGGER	211～214	ドイツ語研究 1A・1B・2A・2B	2	各 2	2 年次
	315～316	ドイツ語研究 3A・3B	3	各 2	2 年次
	317～318	ドイツ語研究 4A・4B	3	各 2	3 年次
MGSPN	211～214	スペイン語研究 1A・1B・2A・2B	2	各 2	2 年次
	315～316	スペイン語研究 3A・3B	3	各 2	2 年次
	317～318	スペイン語研究 4A・4B	3	各 2	3 年次
MGRUS	211～214	ロシア語研究 1A・1B・2A・2B (注 1)	2	各 2	2 年次
	315～316	ロシア語研究 3A・3B (注 1)	3	各 2	2 年次
	317～318	ロシア語研究 4A・4B (注 1)	3	各 2	3 年次
MGKOR	211～214	韓国語研究 1A・1B・2A・2B	2	各 2	2 年次
	315～316	韓国語研究 3A・3B	3	各 2	2 年次
	317～318	韓国語研究 4A・4B	3	各 2	3 年次

注 1: 「ロシア語研究」の履修を希望する者は教務課に申し出ること。

## 「〇〇語」3A・3B・4A・4B

・必修科目として選択した言語の既習者用のインテンシブクラスであり、国際学科生以外は自由に履修できない。

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGFRE	205～208	フランス語 3A・3B・4A・4B	2	各 1	1 年次
MGCHN	205～208	中国語 3A・3B・4A・4B	2	各 1	1 年次
MGGER	205～208	ドイツ語 3A・3B・4A・4B	2	各 1	1 年次
MGSPN	205～208	スペイン語 3A・3B・4A・4B	2	各 1	1 年次
MGKOR	205～208	韓国語 3A・3B・4A・4B	2	各 1	1 年次

## 「〇〇語の基礎」および西洋古典語研究

・必修および選択必修以外の言語について、基礎的な学修を希望する学生のためのインテンシブクラスである。

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGITA	101～102	イタリア語の基礎 A・B	1	各 1	1 年次
MGARB	101～102	アラビア語の基礎 A・B	1	各 1	1 年次
MGTHA	101～102	タイ語の基礎 A・B	1	各 1	1 年次
MGGRE	101～102	ギリシア語研究 A・B	1	各 2	1 年次
MGLAT	101～102	ラテン語研究 A・B	1	各 2	1 年次

## 手話

- ・手話の知識を学び、基本的な運用能力を身につける。

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGSIG	101	手話 1	1	各 2	1 年次
	202	手話 2	2	各 2	1 年次

## 外国文化論科目

- ・それぞれの国の文化、社会について知識を深め、言語学習への興味を持たせるための入門的科目と、当該言語の資料にも触れながら、社会、文化についての知識を深める各論科目である。

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGEUC	101～106	ヨーロッパ言語圏の文化入門 1・2・3・4・5・6	1	各 2	1 年次
	111～116	ヨーロッパ言語圏の文化各論 1・2・3・4・5・6	1	各 2	1 年次
MGASC	101～104	アジア言語圏の文化入門 1・2・3・4	1	各 2	1 年次
	111～114	アジア言語圏の文化各論 1・2・3・4	1	各 2	1 年次

## 留学生関連科目

- ・以下は留学生のための科目であり、一般学生は履修できない。
- ・留学生の履修については、別途がダンス等の説明を参照し、その指導に従うこと。
- ・「日本語研究」3A・3Bは、2年次生でも白金校舎での履修が可能である。

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGJPN	205～208	日本語 3A・3B・4A・4B	2	各 1	2 年次
	211～216	日本語研究 1A・1B・2A・2B・3A・3B	2	各 2	2 年次

## 2. [人文科学系科目群]

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGCHR	201～204	聖書の世界 1・2・3・4	2	各 2	2 年次
	211～214	キリスト教の思想と文化 1・2・3・4	2	各 2	1 年次
	221～224	宗教史 1・2・3・4	2	各 2	1 年次
	231～234	現代社会とキリスト教 1・2・3・4	2	各 2	1 年次
MGPHI	101～102	哲学史 1・2	1	各 2	1 年次
	201～202	哲学各論 1・2	2	各 2	1 年次
	211～212	科学思想 1・2	2	各 2	1 年次
MGETH	101～102	倫理学入門 1・2	1	各 2	1 年次
	201～204	倫理学各論 1・2・3・4	2	各 2	1 年次
MGLOG	101～102	論理学概論 1・2	1	各 2	1 年次
	201～202	伝統論理学 1・2	2	各 2	1 年次
	211～212	現代論理学 1・2	2	各 2	1 年次
MGLIN	101～104	言語科学の基礎 1・2・3・4	1	各 2	1 年次
MGPSY	101～102	心理学入門 1・2(注 2)	1	各 2	1 年次
	201～204	心理学各論 1・2・3・4(注 2)	2	各 2	2 年次
MGEDU	101～102	教育学の基礎 1・2	1	各 2	1 年次

MGART	101～102	芸術学の基礎 1・2	1	各 2	1 年次
	201～206	芸術学各論 1・2・3・4・5・6	2	各 2	1 年次
MGJPL	101～102	日本文学概論 1・2	1	各 2	1 年次
	201～204	日本文学講読 1・2・3・4	2	各 2	1 年次
MGJPS	101～104	日本文化論入門 1・2・3・4	1	各 2	1 年次
	201～202	日本文化特論 1・2	2	各 2	1 年次

※ 3 年次以上で「哲学（専）」1・2 を履修するためには、「MGPHI」（哲学）、「MGETH」（倫理学）、「MGLOG」（論理学）の中から、ナンバリングのアルファベットが同一の 2 科目（計 4 単位）を修得済みでなければならない。

注 2：「心理学入門」1・2 および「心理学各論」1・2・3・4 は心理学科生は履修できない。なお、「心理学各論」1～4 を履修するためには、「心理学入門」1・2 の単位修得が望ましい。

### 3. [社会科学系科目群]

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGLAW	101～102	法学(日本国憲法を含む) 1・2	1	各 2	1 年次
MGPOS	101～102	政治学 1・2	1	各 2	1 年次
MGSOC	101～102	社会学理論の基礎 1・2	1	各 2	1 年次
	111～112	文化とメディアの社会学入門 1・2	1	各 2	1 年次
	121～122	生命とアイデンティティの社会学入門 1・2	1	各 2	1 年次
	131～132	環境とコミュニティの社会学入門 1・2	1	各 2	1 年次
MGSWS	101～102	社会福祉学 1・2	1	各 2	1 年次
MGECN	101～102	経済学 1・2	1	各 2	1 年次
MGSTA	101～104	統計学 1・2・3・4	1	各 2	1 年次
MGHIS	201～206	歴史学 1・2・3・4・5・6	2	各 2	1 年次
	211～212	歴史学の世界 1・2	2	各 2	1 年次
MGGEO	101～102	人文地理学入門 1・2	1	各 2	1 年次
	201～206	人文地理学 1・2・3・4・5・6	2	各 2	1 年次
MGANT	101～102	文化人類学入門 1・2	1	各 2	1 年次
	201～202	文化人類学各論 1・2	2	各 2	1 年次
MGSOS	101～104	社会科学概論 1・2・3・4	1	各 2	1 年次

### 4. [自然科学系科目群]

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGMAT	101～102	数学入門 1・2	1	各 2	1 年次
	111～114	数学 1・2・3・4	1	各 2	1 年次
	211～212	数学特論 1・2	2	各 2	1 年次
MGPHY	101～103	物理学入門 1・2・3	1	各 2	1 年次
	201～203	現代の物理学 1・2・3	2	各 2	1 年次
	211	物理学特論	2	各 2	1 年次
	121～122	物理学方法論 A・B	1	各 2	1 年次
MGCHE	101～102	化学入門 1・2	1	各 2	1 年次
	201～204	現代の化学 1・2・3・4	2	各 2	1 年次
	121～122	化学方法論 A・B	1	各 2	1 年次
MGBIO	101～102	生物学入門 1・2	1	各 2	1 年次
	201～205	現代の生物学 1・2・3・4・5	2	各 2	1 年次

MGBIO	211	生物学特論	2	各 2	1 年次
	121～122	生物学方法論 A・B	1	各 2	1 年次
MGLIS	101～102	生命科学入門 1・2	1	各 2	1 年次
MGLIS	201～203	生命科学各論 1・2・3	2	各 2	1 年次
	211	生命科学特論	2	各 2	1 年次
	121～122	生命科学方法論 A・B	1	各 2	1 年次

## 5. [情報処理系科目群]

・以下は「コンピューターリテラシー」1および2の発展的学修科目である。

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGC0M	201～204	コンピューターリテラシー研究 1A・1B・2A・2B	2	各 2	1 年次
	211～214	情報科学 1・2・3・4	2	各 2	1 年次

## 6. [健康・スポーツ科学系科目群]

・履修に際しては、シラバス、『明治学院共通科目 健康・スポーツ科学系科目履修の手引き』を参照すること。

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGHSS	101～102	健康科学概論 1・2	1	各 2	1 年次
	111～112	スポーツ科学概論 1・2	1	各 2	1 年次
	121～122	スポーツ社会学概論 1・2	1	各 2	1 年次
	131～134	スポーツ方法学 1・2・3・4	1	各 2	1 年次
	201～202	トレーニング科学理論・実習 1・2	2	各 2	1 年次
	211～212	バイオメカニクス理論・実習 1・2	2	各 2	1 年次
	141・143・145	シーズンスポーツ研究 1A・2A・3A	1	各 2	1 年次
	242・244・246	シーズンスポーツ研究 1B・2B・3B	2	各 2	1 年次

## 7. [総合教育系科目群]

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGIND	101～106	現代世界と人間 1・2・3・4・5・6	1	各 2	1 年次
	111～112	現代社会と教養 1・2	1	各 2	1 年次
	121～122	多文化共生入門 1・2	1	各 2	1 年次
	201～204	多文化共生各論 1・2・3・4	2	各 2	1 年次
	131～132	グローバルシチズンシップ入門 1・2	1	各 2	1 年次
	211～214	グローバルシチズンシップ各論 1・2・3・4	2	各 2	1 年次
	141～143	現代平和研究 1・2・3	1	各 2	1 年次
	221～224	スタディーツアー 1・2・3・4(注 3)	2	各 2	1 年次
MGMGS	101	明治学院研究 1	1	各 2	1 年次
	202～203	明治学院研究 2・3	2	各 2	1 年次
MGENV	101～104	環境学各論 1・2・3・4	1	各 2	1 年次
MGSUS	101～104	サステイナビリティ学 1・2・3・4	1	各 2	1 年次

MGVOL	101~104	ボランティア学入門 1・2・3・4	1	各 2	1 年次
	111~112	グローバル社会と市民活動入門 1・2	1	各 2	1 年次
	201~202	グローバル社会と市民活動 1・2	2	各 2	1 年次
	121	ボランティア・市民活動論(国内)1A	1	各 2	1 年次
MGVOL	122	ボランティア・市民活動論(海外)2A	1	各 2	1 年次
	223	ボランティア・市民活動論(国内)1B	2	各 2	1 年次
	224	ボランティア・市民活動論(海外)2B	2	各 2	2 年次
	231	ボランティア・市民活動実習(国内)	2	各 2	1 年次
	232	ボランティア・市民活動実習(海外)	2	各 2	2 年次
	301	ボランティア・市民活動研究(国内)	3	各 2	2 年次
	302	ボランティア・市民活動研究(海外)	3	各 2	2 年次
MGACW	101	アカデミックライティングの基礎	1	各 2	1 年次
	201	アカデミックライティング演習 1	2	各 2	1 年次
MGLCD	101	ライフデザイン 1	1	各 2	1 年次
	202	ライフデザイン 2	2	各 2	2 年次
	203~204	ライフデザイン 3・4	2	各 2	3 年次
	111	キャリアデザイン 1	1	各 2	2 年次
	212	キャリアデザイン 2	2	各 2	2 年次
MGSEM	301~302	アジア・日本研究 A・B	3	各 2	3 年次
	311~312	ヨーロッパ文化圏研究 A・B	3	各 2	3 年次
	321~322	現代科学研究 A・B	3	各 2	3 年次
	331~332	現代社会研究 A・B	3	各 2	3 年次
MGPIO	101	オルガン実習 1(注 4)	1	各 2	2 年次
	202	オルガン実習 2(注 4)	2	各 2	2 年次
MGINT	201~206	Japanese Arts and Culture 1・2・3・4・5・6	2	各 2	1 年次
	211~216	Japanese History 1・2・3・4・5・6	2	各 2	1 年次
	221~226	Japanese Society 1・2・3・4・5・6	2	各 2	1 年次
	231~234	Multilingualism and Multiculturalism 1・2・3・4	2	各 2	1 年次
	241~244	Current Issues 1・2・3・4	2	各 2	1 年次
MGCCS	111~112	異文化コミュニケーション研究 A・B(注 5)	1	各 2	1 年次

注 3: 「ステディーツ」1・2・3・4 は各学科で定める年間履修単位数の上限には含まれない。

注 4: 「オルガン実習」1・2 は実習体験型の科目であり、その実施時期や授業形態について特別な条件が付されている。

注 5: この科目は、「日本の社会と文化」1A・1B・2A・2B・3A・3B において、留学生の授業に一般学生が参加するために設けられた科目である。この科目の履修資格と履修上の要件については、シラバスを参照すること。

## 留学生関連科目

・以下は留学生のための科目であり、一般学生は履修できない。

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGCCS	101~106	日本の社会と文化 1A・1B・2A・2B・3A・3B	1	各 2	1 年次
MGACW	202	アカデミックライティング演習 2(留学生専用)	2	各 2	1 年次

## 8. [特別学科科目]

・学科によっては、(注6)に記載された資格の要件単位となる。

ナンバリング	科目名	レベル	単位数	配当年次
	社会学概論 A・B		各2	1年次

注6：中学(社会)、高校(公民)教育職員免許状取得のために履修する場合は、「教職課程履修要項(諸資格)」も参照すること。

## [単位認定用科目]

以下の諸科目は、授業として行われる科目ではなく、留学やインターシップ等が実施された後に、本学の単位として認定するための科目である。予め履修登録をすることはできないので注意すること。

### 1. [短期留学認定科目]

- ・以下は、本学と協定を結ぶ海外校への短期留学について、本学が単位を認定するための科目である。短期留学を行った者以外が単位を修得することはできない。
- ・留学先によって別途配当年次が定められている場合があるので、必ず「留学ハンドブック」を確認すること。
- ・これらの科目は各学科で定める年間履修単位数の上限には含まれない。

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGRES	101	ヨーロッパ研究(短期留学)	1	各4	1年次
	102	イギリス研究(短期留学)	1	各4	1年次
	103	スペイン研究(短期留学)	1	各4	1年次
	104	ドイツ研究(短期留学)	1	各4	1年次
	105	フランス研究(短期留学)	1	各4	1年次
	106	アメリカ研究(短期留学)	1	各4	1年次
	107	カナダ研究(短期留学)	1	各4	1年次
	108	韓国研究(短期留学)	1	各4	1年次
MGRES	109	中国研究(短期留学)	1	各4	1年次
	110	オセアニア研究(短期留学)	1	各4	1年次
	111	東南アジア研究(短期留学)	1	各4	1年次

### 2. [海外インターシップ 関連科目]

- ・以下は、学生が参加した各種の海外インターシップについて、本学が単位を認定するための科目である。海外インターシップ参加の例としては、「国連ユースボランティア」などがあるが、詳細は国際センター等の発信する掲示を参照すること。
- ・実際に海外インターシップに参加することが決まった段階で教務課窓口にご相談し、単位認定を希望する者は、科目責任者の許可を得ること。
- ・すべての海外インターシップが単位認定の対象となるわけではない点に留意すること。
- ・インターシップ先によって別途配当年次が決められている場合があるので、必ず出願時に確認すること。
- ・これらの科目は各学科で定める年間履修単位数の上限には含まれない。
- ・これらの科目はP・F評価となるため、GPAには含まれない。

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGITS	101~102	海外インターシップ課題研究 A・B	1	各2	1年次
	201~202	海外インターシップ A・B	2	各4	1年次

# 心理学科

# 《心理学部》

## 人材養成上の目的・教育目標

心理学部は、明治学院大学の「人材養成上の目的・教育目標」に基づき、心理学部の「人材養成上の目的・教育目標」を次のとおり定める。

心理学部は“Do for Others”の精神のもと、「ここを探り、人を支える」を教育理念として、現代社会で多くの人が遭遇するさまざまな問題に対して支援することができる「心理支援力のある人材の育成」を人材養成上の目的とする。心理学の基礎を習得し、科学的方法論ならびに関連諸科学の学修と実践を通じて、行動を分析し理解する能力を修得し、その上で、各自の専門分野に応じ、生涯発達の諸段階において他者を理解し支援する力を身につけることを教育目標とする。

## 卒業の認定・学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）

心理学部は、明治学院大学の「卒業の認定・学位授与に関する方針」に基づき、心理学部の「人材養成上の目的・教育目標」に沿った人間を育成するため、所定の期間在学するとともに所定の単位を修得し、次の能力を身につけることを卒業認定と学位授与の要件とする。

- 1 グローバルな現代社会で人々が遭遇するさまざまな問題に対し、心理学または教育発達学的関心・理解を示し、それらへの積極的取り組みの姿勢を有している。
- 2 心理学の基礎を修得し、こころのメカニズムの理解のための科学的方法と実践的能力を身につけている。
- 3 自己理解をもとに、生涯発達の諸段階において他者を理解し、支援できる「心理支援力」を身につけている。
- 4 自分の個性をふまえ、キャリア発達における課題に対処する力を身につけている。

## 教育課程の編成および実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

心理学部は、明治学院大学の「教育課程の編成および実施に関する方針」に基づき、心理学部の定める「人材養成上の目的・教育目標」および「卒業の認定・学位授与に関する方針」に沿って、次のとおり「教育課程の編成および実施に関する方針」を定める。

- 1 心理学部の教育理念「ここを探り、人を支える」の意義を理解し、現代社会が提示する多様な問題に積極的に取り組む姿勢を養うため、自己理解力、他者理解力、関係性理解力、問題解決能力などを培うことを教育課程編成の方針とする。
- 2 学年進行に応じて基礎から専門へ段階的に配置された、心理学あるいは教育発達学に関する多くの専門科目の講義、実習や体験学習、少人数による演習および卒業研究等の諸科目の学修を通じて、上記「1」の力を学生が身につけられるよう教育課程を編成し実施する。
- 3 学修成果は、当該科目の学修目標の達成度を試験、レポート、発表、作品などにより担当教員が評価する。評価基準はそれぞれの科目のシラバスに明示する。

# ■心理学科

## 人材養成上の目的・教育目標

心理学部心理学科は、心理学部の「人材養成上の目的・教育目標」に基づき、心理学科の「人材養成上の目的・教育目標」を次のとおり定める。

心理学の方法論ならびに各自の関心のある領域に関する専門的な知識や技能を獲得する。その上で、自己理解をふまえ、他者との関わりを通じて豊かな人間性と幅広い視野を養い、現代社会の様々な課題に取り組む積極的な姿勢と実践力を身につけることをねらいとする。

## 卒業の認定・学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）

心理学部心理学科は、心理学部の「卒業の認定・学位授与に関する方針」に基づき、心理学科の「人材養成上の目的・教育目標」に沿った人間を育成するため、所定の期間在学するとともに 124 単位を修得し、次の能力を身につけることを卒業認定と学位授与の要件とする。

- 1 心理学の方法論ならびに各自の関心のある領域に関する専門的な知識や技能を獲得している。
- 2 自己理解をふまえ、他者との協調的・共生的関わりを通じて豊かな人間性と幅広い視野を養い、現代社会の心理的課題に取り組む積極的な姿勢と実践的心理支援力を身につけている。
- 3 自己の心理学的理解をもとに、生涯にわたる自己と他者のキャリア発達を展開し、総合的に支援する力を身につけている。

## 教育課程の編成および実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

心理学部心理学科は、心理学部の「教育課程の編成および実施に関する方針」に基づき、心理学科の定める「人材養成上の目的・教育目標」および「卒業の認定・学位授与に関する方針」に沿って、次のとおり「教育課程の編成および実施に関する方針」を定める。

- 1 心理学部の教育理念「こころを探り、人を支える」の意義を理解し、現代社会が提示する多様な問題に積極的に取り組む姿勢を養うため、心理学を基盤とした自己理解力、他者理解力、関係性理解力、問題解決能力を培う。
- 2 心理学の方法論を基盤とし、その上に、心理学の多様な領域に関する専門的な知識や技能を得る講義、演習、実験・実習といった多様な科目を配置して、初年次からの段階的・体系的な教育を実践する。きめ細かな少人数教育を実施する。さらに外国語文献による専門学習を行う。
  - ・ 1年次：基礎的なアカデミックリテラシーの習得ならびに心理学に関する基礎的知識・スキルの学習
  - ・ 2年次：参加体験型学習による心理学の基礎的リテラシーの定着と理解
  - ・ 2～3年次：心理学の中核部分の学習（実験・実習、心理学の各領域についての知識の修得、外国語文献による心理学についての学習）
  - ・ 3～4年次：演習および専門科目による専門学習の深化（講義、実験・実習）、心理学の方法論の実践（卒業研究）

- 3 明治学院共通科目と心理学科科目、他学科科目を配置し、豊かな人間性と幅広い視野を養う。
- 4 学習成果の評価にあたっては、明確な成績評価基準を策定し、学生に提示する。
- 5 公認心理師に配慮したカリキュラムとする。

卒業の認定・学位授与に関する方針(ディプロマ・ポリシー)と授業科目の関連表(能力要件表)

学士力				知識・理解		汎用的技能		態度・志向性			統合的な学習経験と創造的思考力
対応するディプロマ・ポリシー				心理学科2	心理学科1	心理学科1	心理学科2	心理学科2	心理学科2	心理学科2	心理学科3
ディプロマ・ポリシーに基づく身につく能力				豊かな人間性と幅広い視野	心理学の方法論と専門的な知識	心理学の方法論と技能	心理的課題に取り組み、支援できる技能	現代社会の様々な課題に取り組む積極的な姿勢	他者との関わりを通じた豊かな人間性と幅広い視野	協調的・共生的に関わり、支援する力	自他のキャリア発達と、総合的心理支援力
授業科目名		必修選択	単位	年次	科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力=○						
基礎科目											
①講義科目											
PSCRL101心の健康	必修	2	1		◎	○		○	○		
PSCRL102心理学概論	必修	2	1	○	◎				○		
PSCRL103心理学研究法	必修	2	1		◎	○	○				
PSCRL104心理学統計法	必修	2	1		◎	○	○				
PSCRL105心理学的支援法	選択	2	1	○			○		○	◎	
PSCRL106神経・生理心理学	選択必修	2	1		◎	○	○				
PSCRL203知覚・認知心理学	選択必修	2	1		◎	○	○	○			
PSCRL202社会・集団・家族心理学I	選択必修	2	2			◎		○	○	○	
PSCRL107発達心理学	選択必修	2	1	○	◎				○		
PSCRL108臨床心理学概論	選択必修	2	1	○	◎			○		○	
PSCRL201調査法	必修	2	2		◎	○					
PSCRL204心理学英語講読A	選択	2	2		○	◎		○			
②実験・実習科目											
PSCR101基礎統計学	必修	2	1			◎	○				
PSCR201心理学実験	必修	2	2		○	○	◎				
③演習科目											
PSCRS101基礎演習	必修	2	1			○		○	○	◎	
専門科目											
①講義科目											
PSADL201学習・言語心理学	選択	2	2		◎		○				○
PSADL202生涯発達心理学(乳幼児・児童)	選択	2	2		◎		○	○			
PSADL203教育心理学	選択	2	2	○	◎				○		
PSADL204障害者・障害児心理学	選択	2	2	○		○		○		◎	
PSADL205異文化間心理学	選択	2	2	○				◎		○	
PSADL206対人社会心理学	選択	2	2			◎		○	○	○	
PSADL207応用統計学	選択	2	2		○	◎	○				
PSADL208心理学英語講読B	選択	2	2	○		◎	○	○			
PSADL209感情・人格心理学	選択	2	2		◎				○	○	
PSADL210消費者心理学	選択	2	2		○	○		◎		○	
PSADL211人体の構造と機能及び疾病	選択	2	2		◎	○	○				
PSADL212心理臨床動作学	選択	2	2	○		○		○		◎	
PSADL213福祉心理学	選択	2	2	○			◎	○		○	
PSADL301思考心理学	選択	2	3		○			◎	○	○	
PSADL302知覚心理学	選択	2	3	○	○	○	◎				
PSADL303神経心理学	選択	2	3		○	○		○		◎	
PSADL304生理心理学	選択	2	3		◎	○	○				
PSADL305生涯発達心理学(青年)	選択	2	3		◎			○	○		
PSADL306生涯発達心理学(成人・老年)	選択	2	3	○	◎			○			
PSADL307教育・学校心理学	選択	2	3		○	◎		○	○		

学士力				知識・理解		汎用的技能		態度・志向性			統合的な学習経験と創造的思考力
対応するディプロマ・ポリシー				心理学科2	心理学科1	心理学科1	心理学科2	心理学科2	心理学科2	心理学科2	心理学科3
ディプロマ・ポリシーに基づく身につく能力				豊かな人間性と幅広い視野	心理学の方法論と専門的な知識	心理学の方法論と技能	心理的課題に取り組み、支援できる技能	現代社会の様々な課題に取り組む積極的な姿勢	他者との関わりを通じた豊かな人間性と幅広い視野	協調的・共生的に関わり、支援する力	自他のキャリア発達と、総合的心理支援力
授業科目名	必修選択	単位	年次	科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力=○							
PSADL308発達臨床心理学	選択	2	3		○	○		◎	○		
PSADL309グループアプローチ	選択	2	3		○	○	○			◎	
PSADL310健康・医療心理学	選択	2	3		◎			○	○	○	
PSADL311心理的アセスメント	選択	2	3	○	◎	○			○		
PSADL312精神疾患とその治療	選択	2	3		◎	○	○				
PSADL313精神分析学	選択	2	3	○				◎	○		
PSADL314認知行動療法	選択	2	3		○	◎			○	○	
PSADL315司法・犯罪心理学	選択	2	3	○	◎	○		○			
PSADL401公認心理師の職責	選択	2	4	○				◎	○		○
PSADL316心理学とキャリア	選択	2	3					○	○	○	◎
PSADL317コミュニティ心理学	選択	2	3	○			○	◎		○	
<del>PSADL319家族心理学</del>											
PSADL318社会・集団・家族心理学Ⅱ	選択	2	3	○	◎			○		○	
PSADL319産業・組織心理学	選択	2	3		◎		○	○			○
PSADL320社会病理学	選択	2	3	◎	○			○	○		
PSADL321関係行政論	選択	2	3	○				◎	○	○	
PSADL322質的研究法	選択	2	3		○	◎		○			
②実験・実習科目											
<del>PSADP201生理心理学実習</del>	<del>選択必修</del>	<del>1</del>	<del>2</del>	<del></del>	<del>◎</del>	<del>○</del>	<del>○</del>	<del></del>	<del></del>	<del></del>	<del></del>
PSADP301観察法実習	選択必修	1	3		○	◎		○			
PSADP302調査法実習	選択必修	1	3		○	◎	○	○			
PSADP303検査法実習	選択必修	1	3		○	◎			○		
PSADP304認知心理学実習	選択必修	1	3		○	○	◎	○			
PSADP305社会心理学実習A	選択必修	1	3		○	◎		○		○	
PSADP306社会心理学実習B	選択必修	1	3		○	◎		○		○	
PSADP307調査の面接法実習	選択必修	1	3		○	◎		○		○	
PSADP308教育測定学実習	選択必修	1	3		○	◎	○	○			
PSADP401心理実習	選択	4	4	○		○	◎			○	
③演習科目											
PSADS301心理学演習1A	選択	2	3		○	◎		○	○		
PSADS302心理学演習1B	選択	2	3		○	◎		○	○		
PSADS401心理学演習2A	選択	2	4		○	◎		○	○		
PSADS402心理学演習2B	選択	2	4		○	◎		○	○		
PSADS303心理演習	選択	2	3		○	○	◎	○			
④卒業論文											
PSADT401卒業論文	選択	4	4		○	◎	○	○			
他学科科目											
①教育発達学科科目											
PEDTM202知的障害の病理	選択	2	2	◎			○	○		○	
PEDTM201特別支援教育学総論	選択	2	2	◎			○	○		○	
PEDSP301肢体不自由の心理・生理・病理	選択	2	3		○	○	◎			○	
PEDTM301障害児教育相談とアセスメント	選択	2	3		○	○	◎			○	

学士力				知識・理解		汎用的技能		態度・志向性			統合的な学習経験と創造的思考力
対応するディプロマ・ポリシー				心理学科2	心理学科1	心理学科1	心理学科2	心理学科2	心理学科2	心理学科2	心理学科3
ディプロマ・ポリシーに基づく身につく能力				豊かな人間性と幅広い視野	心理学の方法論と専門的な知識	心理学の方法論と技能	心理的課題に取り組み、支援できる技能	現代社会の様々な課題に取り組む積極的な姿勢	他者との関わりを通じた豊かな人間性と幅広い視野	協調的・共生的に関わり、支援する力	自他のキャリア発達と、総合的心理支援力
授業科目名		必修選択	単位	年次	科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力=○						
PEDSP302病弱の心理・生理・病理		選択	2	3		○	○	◎			○
PEDA0306学校経営と学校図書館		選択	2	3	◎			○	○		○
PEDA0307学校図書館メディアの構成		選択	2	3	◎			○	○		○
PEDA0308学習指導と学校図書館		選択	2	3		○		○	◎		○
PEDCP307情報メディアの活用		選択	2	3		○		○	◎		○
PEDCP306読書と豊かな人間性		選択	2	3	◎			○	○		○

※卒業要件外科目は、学科のディプロマ・ポリシーに基づく「身につく能力」との関連がないため記載していません。

# 心 理 学 科

## (履修の方法)

### [1] 心理学科カリキュラムの概要

1. 心理学科のカリキュラムは、専門教育科目（心理学科科目）、隣接領域科目（教育発達学科科目）、明治学院共通科目、教職関連科目から構成されている。明治学院共通科目については、『明治学院共通科目履修の方法』を参照すること。

2. 心理学科科目の概要

学科科目は、

- ・基礎科目
  - ① 講義科目
  - ② 実験・実習科目
  - ③ 演習科目
- ・専門科目
  - ① 講義科目
  - ② 実験・実習科目
  - ③ 演習科目
  - ④ 卒業論文

で構成される。

基礎科目は必修、選択必修、要求または選択科目である。

専門科目は選択必修または全て選択科目である。

専門科目の演習科目、卒業論文などを履修するためには、履修条件があるので注意してほしい。

◎公認心理師については、P.69 からの公認心理師の章を確認すること。

## 〔2〕卒業までに必要な単位数

部 門			卒業までに必要な単位数				
明治学院 共通科目 (注1)	キリスト教の基礎		ア	4 単位	計 24 単位		
	英語		イ	4 単位			
	初習語			4 単位			
	情報処理系科目		ウ	2 単位			
	自由選択		エ	10 単位			
学科科目	基礎科目	①講義科目	必修科目※	オ	10 単位 (注2)	計 70 単位	
			選択必修科目 b	カ	6 単位 (注2)		
			要求科目 #	キ	(注3)		
			選択科目	ク	(注4)		
	②実験・実習科目	必修科目※	ケ	4 単位 (注2)			
		③演習科目	必修科目※	コ	2 単位 (注2)		
		①講義科目	②-1 実験・実習科目	選択科目	サ		47 単位 (注5)
	②-1 実験・実習科目						
	③演習科目						
	④卒業論文						
②-2 実験・実習科目	選択必修科目 \$	シ	1 単位 (注2)				
				②-2 実験・実習科目			
フリーゾーン (明治学院共通科目・学科科目・教育発達学科科目から選択)			ス	30 単位 (注6)	計 30 単位		
				合 計	124 単位		

- (注1) 明治学院共通科目の履修方法を参照すること。なお、英語および初習語(イ)で9単位以上修得した場合、情報処理系科目(ウ)で3単位以上修得した場合は、自由選択(エ)の単位として扱われる。自由選択(エ)の11単位以上の単位は、フリーゾーン(ス)の単位として扱われる。外国人留学生は、日本語4単位が必修であり、さらに日本語以外の言語(同一言語)から4単位を必修とする。
- (注2) 指定された、必修科目※(オ・ケ・コ)を16単位、選択必修科目 b(カ)から6単位以上、選択必修科目 \$ (シ)から1単位以上を修得すること。選択必修科目 b(カ)7単位以上、選択必修科目 \$ (シ)2単位以上の単位は、フリーゾーン(ス)の単位として扱われる。
- (注3) 要求科目 # (キ)は、卒業に必須ではないが、2年次に履修が義務づけられるものである。要求科目 # (キ)の単位は、専門選択科目(シ)の単位として扱われる。
- (注4) 選択科目(ク)は、卒業に必須の単位ではない。公認心理師資格の取得を視野に入れている学生は「公認心理師受験資格」を参照すること。選択科目(ク)の単位は、専門選択科目(シ)の単位として扱われる。
- (注5) 専門選択科目(シ)は要求科目 # (キ)・選択科目(ク)の単位と合わせて、①講義科目②実験・実習科目③演習科目④卒業論文から47単位修得すること。48単位以上の専門選択科目(シ)は単位は、フリーゾーン(ス)の単位として扱われる。
- (注6) フリーゾーン(ス)の30単位は、明治学院共通科目、心理学科科目、および他学科科目のうちの教育発達学科科目から修得すること。
- (注7) 特に指示がある科目を除き、同一科目が複数開講されている場合でも、履修できるのは1つだけである。

## 〔3〕年間履修制限単位数

- ・1年間に履修できる単位数は48単位である(「教職に関する科目」と「教科に関する科目(卒業要件外)」は、16単位まで48単位を超えて履修できる)。
- ・同一授業科目を重複履修することはできない。
- ・編入生および転学科生の履修方法は個々の事情によって異なるはずなので、年度始めに教務課の指導を受けること。特に、転学科生の場合、転学科をしたことによる履修の特別な処置を約束するものではないことを承知しておくこと。

## 〔4〕履修中止除外科目について

学修の手引き「履修 7. 履修中止制度」で履修中止ができない科目としている必修科目、予備登録科目等に加えて、心理学科における「(g)各学科において定めている履修中止の申請ができない科目」は、以下のとおりである。

- ・ 選択必修科目（明治学院共通科目・学科科目）
- ・ 専門科目の演習科目（心理学演習 1A～2B と心理演習）
- ・ 要求科目（心理学英語講読 A）

## 〔5〕再試験

卒業年次生のうち、卒業に必要な単位数を、学科科目のうち講義科目 1 科目の範囲内で満たすことができなかった学生につき、当該年度の D 評価の科目を対象として再試験の機会を設ける。該当者の発表は 3 月の卒業生の発表と同時に、試験は 3 月に実施する。ただし、9 月卒業申請者に対する再試験は実施しない。

## 〔6〕学科科目

### 基礎科目

以下の講義科目および実験・実習科目は卒業までに必要な単位数の表中オ～コの単位として扱われる。

※はすべて必修科目である。必修科目は必ず配当年次に履修すること。

ℓを付した科目は選択必修科目である。

ℓについては、5 科目中、3 科目（6 単位）以上を修得すること。7 単位以上はスの単位として扱われる。

＃を付した科目は要求科目である。要求科目は卒業に必須ではないが 2 年次に履修が義務づけられるものである。要求科目の単位はシの単位として扱われる。

### ①講義科目

配当年次		科目名	単位数	開講	公認心理師 指定科目	備考
1	※	PSCRL101 心の健康	2	学期		
1	※	PSCRL102 心理学概論	2	学期	○	
1	※	PSCRL103 心理学研究法	2	学期	○	
1	※	PSCRL104 心理学統計法	2	学期	○	
1		PSCRL105 心理学的支援法	2	学期	○	
1	ℓ	PSCRL106 神経・生理心理学	2	学期	○	
1	ℓ	PSCRL107 発達心理学	2	学期	○	
1	ℓ	PSCRL108 臨床心理学概論	2	学期	○	
2	ℓ	PSCRL203 知覚・認知心理学	2	学期	○	
2	ℓ	PSCRL202 社会・集団・家族心理学 I	2	学期	○	
2	※	PSCRL201 調査法	2	学期		
2	＃	PSCRL204 心理学英語講読 A	2	学期		

### ②実験・実習科目

配当年次		科目名	単位数	開講	公認心理師 指定科目	備考
1	※	PSCRP101 基礎統計学	2	学期		注 1
2	※	PSCRP201 心理学実験	2	学期	○	注 1

（注 1） 2 時限連続で開講される。

### ③演習科目

配当年次	科目名	単位数	開講	公認心理師 指定科目	備考
1	※PSCRS101 基礎演習	2	学期		

### 専門科目

専門科目は、以下の科目で構成される。基礎科目の要求科目、選択科目の単位と合せて、選択必修科目、①講義科目、②-1 実験・実習科目、③演習科目、④卒業論文の中から、47単位以上を修得すること。48単位以上の単位は、その単位として扱われる。

### ①講義科目

配当年次	科目名	単位数	開講	公認心理師 指定科目	備考
2	PSADL201 学習・言語心理学	2	学期	○	
2	PSADL202 生涯発達心理学（乳幼児・児童）	2	学期		
2	PSADL203 教育心理学	2	学期		
2	PSADL204 障害者・障害児心理学	2	学期	○	
2	PSADL205 異文化間心理学	2	学期		
2	PSADL206 対人社会心理学	2	学期		
2	PSADL207 応用統計学	2	学期		注1
2	PSADL208 心理学英語講読 B	2	学期		注1
2	PSADL209 感情・人格心理学	2	学期	○	
2	PSADL210 消費者心理学	2	学期		
2	PSADL211 人体の構造と機能及び疾病	2	学期	○	
2	PSADL212 心理臨床動作学	2	学期		
2	PSADL213 福祉心理学	2	学期	○	
3	PSADL301 思考心理学	2	学期		
3	PSADL302 知覚心理学	2	学期		
3	PSADL303 神経心理学	2	学期		
3	PSADL304 生理心理学	2	学期		
3	PSADL305 生涯発達心理学（青年）	2	学期		
3	PSADL306 生涯発達心理学（成人・老年）	2	学期		
3	PSADL307 教育・学校心理学	2	学期	○	
3	PSADL308 発達臨床心理学	2	学期		
3	PSADL309 グループアプローチ	2	学期		
3	PSADL310 健康・医療心理学	2	学期	○	
3	PSADL311 心理的アセスメント	2	学期	○	
3	PSADL312 精神疾患とその治療	2	学期	○	
3	PSADL313 精神分析学	2	学期		
3	PSADL314 認知行動療法	2	学期		
3	PSADL315 司法・犯罪心理学	2	学期	○	
4	PSADL401 公認心理師の職責	2	学期	○	
3	PSADL316 心理学とキャリア	2	学期		
3	PSADL317 コミュニティ心理学	2	学期		
3	<del>PSADL318 家族心理学</del> PSADL318 社会・集団・家族心理学Ⅱ	2	学期	○	
3	PSADL319 産業・組織心理学	2	学期	○	

配当年次	科目名	単位数	開講	公認心理師 指定科目	備考
3	PSADL320 社会病理学	2	学期		
3	PSADL321 関係行政論	2	学期	○	
3	PSADL322 質的研究法	2	学期		注1

(注1) 定員を超えた場合は選考を行う場合がある。

## ②実験・実習科目

心理学の専門的な技能を身につけるための科目。科目毎に履修条件が課せられている。シラバスによく目を通すこと。説明会がある場合には、履修希望者は必ず出席すること。

\$を付した下の科目群から1科目以上履修し、単位を修得すること。

定員を超えた場合は選考を行う。

配当年次		科目名	単位数	開講	公認心理師 指定科目	備考
<del>2</del>	<del>\$</del>	<del>PSADP201 生理心理学実習</del>	<del>1</del>	<del>学期</del>		
3	\$	PSADP301 観察法実習	1	学期		
3	\$	PSADP302 調査法実習	1	学期		
3	\$	PSADP303 検査法実習	1	学期		
3	\$	PSADP304 認知心理学実習	1	学期		
3	\$	PSADP305 社会心理学実習 A	1	学期		
3	\$	PSADP306 社会心理学実習 B	1	学期		
3	\$	PSADP307 調査的面接法実習	1	学期		
3	\$	PSADP308 教育測定学実習	1	学期		
4		PSADP401 心理実習	4	学期	○	注1

(注1) 公認心理師受験資格の取得を希望する者で、許可を受けた者だけが履修できる。

## ③演習科目

配当年次		科目名	単位数	開講	公認心理師 指定科目	備考
3		PSADS301 心理学演習 1A	2	学期		注1
3		PSADS302 心理学演習 1B	2	学期		注1
4		PSADS401 心理学演習 2A	2	学期		注2
4		PSADS402 心理学演習 2B	2	学期		注2
3		PSADS303 心理演習	2	学期	○	注3

(注1) ①2年次までの必修科目の単位を修得済みであることを履修条件とするゼミが多いが、詳細な履修条件の説明は、2年次に実施するゼミ説明会の時に行う。

②2年春学期までの成績による選考を行う場合もある。

(注2) 原則として「心理学演習2A・2B」は同じ担当者の「心理学演習1A・1B」を修得済みであること。

(注3) 公認心理師受験資格の取得を希望する者のうち、許可を受けた者だけが履修できる。専門選択科目(シ)の単位となるが、心理学演習科目の読み替えはできない。

## ④卒業論文

配当年次	科目名	単位数	開講	備考
4	PSADT401 卒業論文	4	通年	

履修予定者は、履修登録期間内に必ず各自履修登録すること。

「卒業論文」の単位を修得するためには、「心理学演習2A」「心理学演習2B」の両方の単位を修得する必要がある。

「卒業論文」を履修するためには、原則として同じ担当者の「心理学演習2A」「心理学演習2B」を同一年度に履修すること。論文は、12,000字以上であることを原則とする。

## 〔7〕他学科科目

### ① 教育発達学科科目

下記科目は、心理学科生が履修できる教育発達学科科目である。以下の科目は卒業までに必要な単位数の表中ス（フリーゾーン；明治学院大学共通科目および学科科目部門）の単位として扱われる。

配当年次	科目名	単位数	開講	備考
2	PEDTM202 知的障害の病理	2	学期	
2	PEDTM201 特別支援教育学総論	2	学期	
3	PEDSP301 肢体不自由の心理・生理・病理	2	学期	
3	PEDTM301 障害児教育相談とアセスメント	2	学期	
3	PEDSP302 病弱の心理・生理・病理	2	学期	
3	PEDA0306 学校経営と学校図書館	2	学期	注1
3	PEDA0307 学校図書館メディアの構成	2	学期	注1
3	PEDA0308 学習指導と学校図書館	2	学期	注1
3	PEDCP307 情報メディアの活用	2	学期	注1
3	PEDCP306 読書と豊かな人間性	2	学期	注1

（注1）教職科目を履修している学生のみ履修可能。（詳細は別途指示する）

### ② 社会学科科目（卒業要件外）

下記科目は、心理学科生が履修できる社会学科科目である。

下記科目は、教育職員免許状のための単位として履修できる科目であり、卒業要件単位にならない。

下記「社会学科科目」と「〔8〕教職課程の**教科及び教科の指導法に関する科目**（社会学概論A・Bを除く）」および「教職課程履修要項（諸資格）」に記載の「教職に関する科目」、「**大学が独自に設定する科目**」と「**教科及び教科の指導法に関する科目**」のうち各**教科の指導法科目**を年間履修制限単位に加えて16単位まで履修できる。

配当年次	科目名	単位数	開講	備考
3	SGLEC250 対人関係論	2	学期	

## 〔8〕教職課程の**教科及び教科の指導法に関する科目**（卒業要件外）

下記科目は、教育職員免許状のための単位として履修できる科目である。

社会学概論A・Bを除いて、卒業要件単位にならない。

下記「**教科及び教科の指導法に関する科目**（社会学概論A・Bを除く）」と「社会学科科目」および「教職課程履修要項（諸資格）」に記載の「教職に関する科目」、「**大学が独自に設定する科目**」と「**教科及び教科の指導法に関する科目**」のうち各**教科の指導法科目**を年間履修制限単位に加えて16単位まで履修できる。

配当年次	科目名	単位数	開講	備考
1	SGBAS101 社会学概論 A	2・2	学期	注1
1	SGBAS102 社会学概論 B	2・2	学期	注1
2	TCKN0901 日本史 A	2・2	学期	
2	TCKN0902 日本史 B	2・2	学期	
2	TCKN0911 世界史 A	2・2	学期	
2	TCKN0912 世界史 B	2・2	学期	
2	TCKN0941 地誌概説 1	2・2	学期	
2	TCKN0942 地誌概説 2	2・2	学期	
2	TCKN0921 地理学概論 1	2・2	学期	

2	TCKN0922 地理学概論 2	2・2	学期	
2	憲法 A	2・2	学期	注 2
2	憲法 B	2・2	学期	注 2
2	民法 A	2・2	学期	注 2
2	民法 B	2・2	学期	注 2
2	J-POL201 現代政治理論 1A	2・2	学期	
2	J-POL202 現代政治理論 1B	2・2	学期	
2	J-INR103 国際政治学 A	2・2	学期	
2	J-INR104 国際政治学 B	2・2	学期	
3	LXCRS301 哲学（専）1	2・2	学期	注 3
3	LXCRS302 哲学（専）2	2・2	学期	注 3
3	TCKN0951 宗教学概論 1	2・2	学期	
3	TCKN0952 宗教学概論 2	2・2	学期	
3	労働法 1	2・2	学期	
3	労働法 2	2・2	学期	

（注 1）「社会学概論 A・B」は、明治学院共通科目として開講されている。

（注 2）B の履修にあたっては、A が履修済みであることが望ましい。講義は A の知識を前提として行われる。

（注 3）「哲学（専）1・2」を履修するためには、明治学院共通科目 [人文科学系科目群] の「MGPHI」（哲学）、「MGETH」（倫理学）、「MGLG」（論理学）の科目から、同一名称の科目 2 科目（計 4 単位）を修得済みでなければならない。

## 〔9〕小学校教育職員免許取得について

玉川大学と本学との協定に基づき、小学校教員免許を取得するために 3 年次から玉川大学通信教育部の科目等履修生になることができる。それを希望する学生は 2 年次に行われる説明会に出席し、面接を受け、学科による推薦を得なければならない。心理学科の選考基準は以下のとおりである。

小学校教員になりたいという強い意志を持っている学生で、以下の条件を満たし、面接による口頭試問に合格した者。

1) 2 年次までに以下の学科必修科目および選択必修科目 3 科目以上の単位を修得または修得見込の者。

必修科目 = 心の健康、心理学概論、心理学研究法、心理学統計法、調査法、基礎統計学、心理学実験、基礎演習

選択必修科目 = 神経・生理心理学、知覚・認知心理学、社会・集団・家族心理学、発達心理学、臨床心理学概論

2) 中学校社会科教員免許あるいは高等学校公民科教員免許を取得する為に必要な以下の科目の単位を 2 年次までに修得または修得見込の者。

教育の思想と歴史、教育制度論、**教職原論**、**社会科・地理歴史科指導法 1**、**社会科・公民科指導法 1**、**生徒・進路指導の理論と方法**、**道徳教育の理論と方法**

但し、**社会科・地理歴史科指導法 1** と **道徳教育の理論と方法** は高等学校公民科のみ取得する学生は不要。

## 〔10〕卒業論文未提出者・不合格者の 9 月卒業について

・在学 5 年目以上の学生が、下記条件を満たしている場合、9 月卒業の申請科目に「卒業論文」を含めることができる。

① 前年度までに「心理学演習 2A」、「心理学演習 2B」の単位を修得済であること。

② 前年度までに得た「卒業論文」の評価が「D」（提出したが不合格）または「N」（未提出）であること。

- ③ 前年度までに「卒業論文」の指導を1年以上受けていること。
  - ④ 卒業希望年度に「卒業論文」と春学期科目の履修で卒業見込みが立つこと。
  - ⑤ 卒論指導担当者（それが不可能の場合は学科主任）に9月卒業を前提とした卒業論文履修者として、履修の許可を得ていること。
- ・ 申請者は、卒業論文を7月第一火または水曜日に教務課へ提出し、審査のうえ合格した場合、春学期末に単位を修得できる。
  - ・ 上記期日に未提出または審査結果が不合格の場合、3月卒業予定の学生と同じ1月の期日に改めて提出することで、3月卒業の可能性はある。
  - ・ 卒業論文を上記期日に提出し審査に合格した場合でも、他の卒業要件単位が春学期末に未修得ならば、卒業論文は年度末に単位を修得することになる。
  - ・ 希望者は、教務課指定の履修許可書に卒論指導担当者の署名と捺印を受け、他の申請書類と併せて教務課に提出すること。

心理学科科目部門別一覽

科目名	単位数	配当年次	開講	科目名	単位数	配当年次	開講
<b>(V) 基礎科目</b>							
<b>① 講義科目</b>							
※ PSCRL101 心の健康	2	1	学期	※ PSCRL103 心理学研究法	2	1	学期
※ PSCRL102 心理学概論	2	1	学期	※ PSCRL104 心理学統計法	2	1	学期
PSCRL105 心理学的支援法	2	1	学期	※ PSCRL201 調査法	2	2	学期
b PSCRL203 知覚・認知心理学	2	1	学期	b PSCRL106 神経・生理心理学	2	1	学期
b PSCRL108 臨床心理学概論	2	1	学期	b PSCRL107 発達心理学	2	1	学期
# PSCRL204 心理学英語講読 A	2	2	学期	b PSCRL202 社会・集団・家族心理学 I	2	2	学期
<b>② 実験・実習科目</b>							
※ PSCR101 基礎統計学	2	1	学期	※ PSCR201 心理学実験	2	2	学期
<b>③ 演習科目</b>							
※ PSCRS101 基礎演習	2	1	学期				
<b>(VI) 専門科目</b>							
<b>① 講義科目</b>							
<b>知覚心理学・学習心理学領域</b>							
PSADL201 学習・言語心理学	2	2	学期	PSADL302 知覚心理学	2	3	学期
PSADL301 思考心理学	2	3	学期				
<b>生理心理学・比較心理学領域</b>							
<del>PSADL304 生理心理学</del>	2	3	学	PSADL303 神経心理学	2	3	学
<b>教育心理学・発達心理学領域</b>							
PSADL202 生涯発達心理学 (乳幼児・児童)	2	2	学期	PSADL203 教育心理学	2	2	学期
PSADL305 生涯発達心理学 (青年)	2	3	学期	PSADL307 教育・学校心理学	2	3	学期
PSADL306 生涯発達心理学 (成人・老年)	2	3	学期	PSADL308 発達臨床心理学	2	3	学期
<b>臨床心理学・人格心理学領域</b>							
PSADL204 障害者・障害児心理学	2	2	学期	PSADL309 グループアプローチ	2	3	学期
PSADL209 感情・人格心理学	2	2	学期	PSADL310 健康・医療心理学	2	3	学期
PSADL211 人体の構造と機能及び疾病	2	2	学期	PSADL315 司法・犯罪心理学	2	3	学期
PSADL311 心理的アセスメント	2	3	学期	PSADL314 認知行動療法	2	3	学期
PSADL313 精神分析学	2	3	学期	PSADL312 精神疾患とその治療	2	3	学期
PSADL213 福祉心理学	2	2	学期	PSADL212 心理臨床動作学	2	2	学期
PSADL401 公認心理師の職責	2	4	学期				
<b>社会心理学・産業心理学領域</b>							
PSADL205 異文化間心理学	2	2	学期	PSADL321 関係行政論	2	3	学期
PSADL206 対人社会心理学	2	2	学期	PSADL319 産業・組織心理学	2	3	学期
PSADL210 消費者心理学	2	2	学期	PSADL320 社会病理学	2	3	学期
PSADL318 社会・集団・家族心理学 II	2	3	学期	PSADL316 心理学とキャリア	2	3	学期
PSADL317 コミュニティ心理学	2	3	学期				
<b>研究法・英語講読</b>							
PSADL207 応用統計学	2	2	学期	PSADL322 質的研究法	2	3	学期
PSADL208 心理学英語講読 B	2	2	学期				
<b>② 実験・実習科目</b>							
§ PSADP301 観察法実習	1	3	学期	§ PSADP303 検査法実習	1	3	学期
§ PSADP302 調査法実習	1	3	学期	§ <del>PSADP201 生理心理学実習</del>	1	2	学期
§ PSADP307 調査の面接法実習	1	3	学期	§ PSADP308 教育測定学実習	1	3	学期
§ PSADP305 社会心理学実習 A	1	3	学期	§ PSADP306 社会心理学実習 B	1	3	学期
§ PSADP304 認知心理学実習	1	3	学期	PSADP401 心理実習	4	4	学期
<b>③ 演習科目</b>							
PSADS301 心理学演習 1A	2	3	学期	PSADS302 心理学演習 1B	2	3	学期
PSADS401 心理学演習 2A	2	4	学期	PSADS402 心理学演習 2B	2	4	学期
PSADS303 心理演習	2	3	学期				
<b>④ 卒業論文</b>							
PSADT401 卒業論文	4	4	通年				

公認心理師

# 公認心理師

## 公認心理師の資格と職務

公認心理師法は、2015年9月9日に議員立法により成立し、2017年9月15日に施行された。

公認心理師は、心理学に特化した初めての国家資格である。近年の国民が抱える心の健康の問題は、生活に関わる重要な問題であり、学校、医療機関、その他企業をはじめとする様々な職場において、心理職の活用の促進が求められる。これらの心の問題等をめぐる状況に鑑み、心理に関する支援を必要とする人々の心理に関する相談、援助等の業務に従事する者の資質の向上及びその業務の適正を図り、国民が安心して心理に関する支援を受けられるようにするため、国家資格によって裏付けられた一定の資質を備えた心理職として、公認心理師資格が定められた。

公認心理師は、公認心理師法第2条によれば、「公認心理師登録簿への登録を受け、公認心理師の名称を用いて、保健医療、福祉、教育その他の分野において、心理学に関する専門的知識及び技術をもって、次に掲げる行為を行うことを業とする者」である。

- (1) 心理に関する支援を要する者の心理状態の観察、その結果の分析
- (2) 心理に関する支援を要する者に対する、その心理に関する相談及び助言、指導その他の援助
- (3) 心理に関する支援を要する者の関係者に対する相談及び助言、指導その他の援助
- (4) 心の健康に関する知識の普及を図るための教育及び情報の提供

公認心理師国家試験の受験資格を得るには、心理学部心理学科の学生が、学科教育方針とそれに伴うカリキュラムに沿って所定の科目の単位を在学中に全て修得して卒業し、①大学院生対象の所定の科目の単位を修得したうえで大学院を修了する（Aルート、P. 74参照）、または、②認定された医療機関等での実務経験を2年以上（標準は3年）積む（Bルート、P. 74参照）必要がある（法第7条1号に該当）。

## 2018年度生以降の「公認心理師」国家試験受験資格取得に必要な科目

「公認心理師法」が、2015年に公布された。これに基づき、2018年度生から、以下に示すように法令で定められた「指定科目」に基づいて、本学開講科目を設定している。この本学で設定している国家試験受験資格取得に必要な科目の単位を在学中に全て修得し卒業した後、①大学院修了までに大学院生対象の所定の科目の単位を修める（Aルート）、または、②認定された医療機関等での実務経験を2年以上（標準は3年）積む（Bルート）ことによって、国家試験の受験資格が得られる。

したがって、この試験を受験しようとする者は、下記の諸点をよく注意して科目を履修する必要がある。

◎「指定科目」と本学の開講科目

<法令に定められている「指定科目」とは次の表のとおりである>

指定科目等の名称	
<b>心理学基礎科目</b>	
	公認心理師の職責
	心理学概論
	臨床心理学概論
	心理学研究法
	心理学統計法
	心理学実験
<b>心理学発展科目（基礎心理学）</b>	
	知覚・認知心理学
	学習・言語心理学
	感情・人格心理学
	神経・生理心理学
	社会・集団・家族心理学
	発達心理学
	障害者・障害児心理学
	心理的アセスメント
	心理学的支援法
<b>（実践心理学）</b>	
	健康・医療心理学
	福祉心理学
	教育・学校心理学
	司法・犯罪心理学
	産業・組織心理学
<b>（心理学関連科目）</b>	
	人体の構造と機能及び疾病
	精神疾患とその治療
	関係行政論
<b>実習演習科目</b>	
	心理演習
	心理実習

<本学で開講されている学科目は、必ずしもこの「指定科目」の名称と同じではない。その対比は次のとおりである。>

指定科目等の名称	開講科目の名称
社会・集団・家族心理学	社会・集団・家族心理学Ⅰ（*）
	社会・集団・家族心理学Ⅱ（*）
	（*）Ⅰ・Ⅱ両方を修得する必要がある

< 「心理演習」(3年次・秋学期)履修の前提条件 >

「心理演習」は、原則として『「公認心理師」国家試験受験資格取得に必要な科目 (P.70)』のうちの次の科目を修得し、所定の手続きによって認められたもののみ履修することができる。

開講科目等の名称	単位数	配当年次
<b>心理学基礎科目</b>		
PSCRL102心理学概論	2	1
PSCRL108臨床心理学概論	2	1
PSCRL103心理学研究法	2	1
PSCRL104心理学統計法	2	1
PSCR201心理学実験	2	2
<b>心理学発展科目 (基礎心理学)</b>		
PSCRL203知覚・認知心理学	2	2
PSADL201学習・言語心理学	2	2
PSADL209感情・人格心理学	2	2
PSCRL106神経・生理心理学	2	1
PSCRL202社会・集団・家族心理学Ⅰ	2	2
PSADL318社会・集団・家族心理学Ⅱ	2	3
PSCRL107発達心理学	2	1
PSADL204障害者・障害児心理学	2	2
PSADL311心理的アセスメント	2	3
PSCRL105心理学的支援法	2	1

< 「心理実習」(4年次・春学期)履修の前提条件 >

「心理実習」は、「心理演習」および『「公認心理師」国家試験受験資格取得に必要な科目 (P.70)』のうちの次の科目を修得し、所定の手続きによって認められたもののみ履修することができる。また「心理実習」の履修においては、「公認心理師の職責」を並行履修する必要がある。

開講科目等の名称	単位数	配当年次
<b>心理学基礎科目</b>		
PSADL401公認心理師の職責	2	4
<b>心理学発展科目 (実践心理学)</b>		
PSADL310健康・医療心理学	2	3
PSADL213福祉心理学	2	2
PSADL307教育・学校心理学	2	3
PSADL315司法・犯罪心理学	2	3
PSADL319産業・組織心理学	2	3
<b>(心理学関連科目)</b>		
PSADL211人体の構造と機能及び疾病	2	2
PSADL312精神疾患とその治療	2	3
PSADL321関係行政論	2	3

## 全学年共通

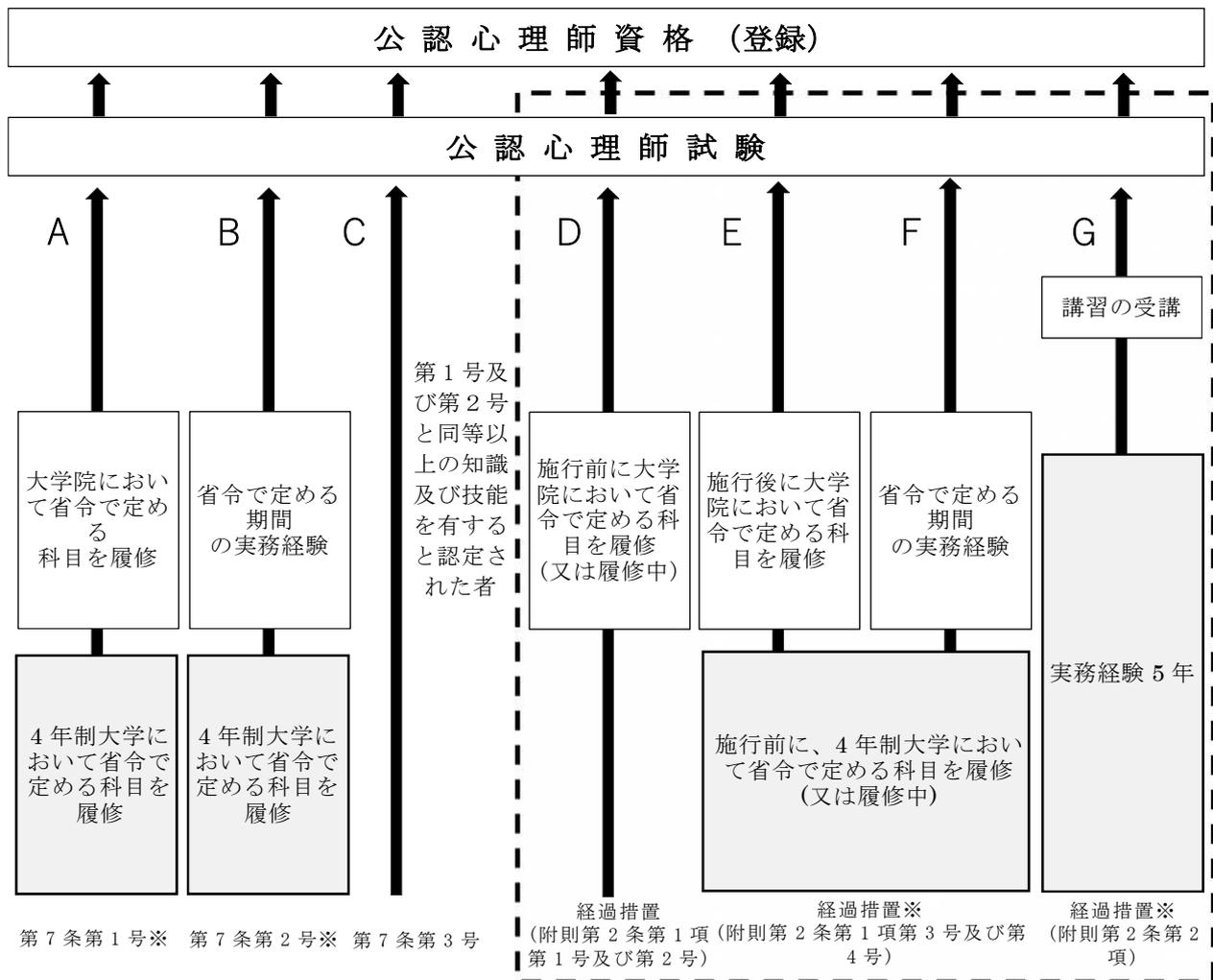
1. 転学科生が公認心理師試験の受験資格を得ようとする場合、本学では、原則として卒業までに3年以上を要するので注意すること。
2. 公認心理師の資格取得方法は次頁の図のとおりである。

公認心理師資格・受験に関する情報は下記を参照のこと。

厚生労働省 公認心理師関連ページ

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000116049.html>

# 公認心理師の資格取得方法について



\* 該当条文に戻づく受験資格取得者に「準ずるもの」を省令で定めることとされている  
 (「公認心理師カリキュラム等検討会 報告書」より)

# 心理学部専任教員一覽

## 心理学部専任教員一覧

### 心理学科

氏名	主な担当領域
伊藤 拓	学校心理学
金沢 吉展	健康心理学/臨床心理学
川端 一光	教育心理学/心理統計学
金城 光	認知心理学
清水 良三	心理臨床動作学
杉山 恵理子	グループアプローチ/福祉心理学
平子 雪乃	心理実習/心理演習
田中 知恵	産業・組織心理学/社会心理学
滑川 瑞穂	臨床心理アセスメント
西園マーハ 文	臨床精神医学
野末 武義	家族心理学
野村 信威	生涯発達心理学
花田 安弘	生理心理学
宮本 聡介	社会心理学/社会的認知
森本 浩志	認知行動療法

### 教育発達学科

氏名	主な担当領域
緒方 明子	障害児・者心理学
小野 昌彦	教育臨床心理学
垣花 真一郎	教育心理学
鞍馬 裕美	教育経営学
小林 潤一郎	障害児医学/発達小児科学
佐藤 公	社会科教育学
渋谷 恵	比較・国際教育学
杉山 雅俊	理科教育学
谷川 夏実	保育学・幼児教育学
玉腰 和典	体育科教育学
辻 宏子	数学教育学
手塚 千尋	美術科教育学
中村 敦雄	国語科教育学
根本 淳子	教育方法学
松永 あけみ	発達心理学/保育心理学
水戸 博道	音楽科教育学
宮崎 眞	特別支援教育学

# 諸資格

# 1. 社会教育主事任用資格

## 社会教育主事任用資格が取得できる学科

社会教育主事任用資格は、社会学科生と教育発達学科生が取得することができます。

## 社会教育主事の職務

社会教育とは、学校教育法に基づき、学校において行われる教育活動を除く、主として青少年及び成人に行われる組織的な教育活動を言います。国及び地方公共団体はすべての国民があらゆる機会、あらゆる場所を利用して自ら实际生活に即する文化的教養を高め得るように環境を整える努力を義務づけています。都道府県及び市町村の教育委員会では、社会教育に関する諸般の事務を行うため社会教育主事を置いています。

社会教育主事の主たる職務は社会教育を行う者に、専門的技術的な助言と指導を行うことです。

## 社会教育主事任用資格を得るには

下記 1～4 のいずれかに該当する者が社会教育主事任用資格を得られます。**任用資格とは、公務員試験に合格して公務員となった者にあてはまるものであり、この要件が満たされなければ社会教育主事にはなれません。**

1. 大学に2年以上在学し、62単位以上を修得し、又は高等専門学校を卒業し、かつ次に掲げる期間を通算した期間が3年以上になる者で、必要とする社会教育主事の講習を修了した者
  - ①社会教育主事補の職にあった期間
  - ②官公署・学校・社会教育施設又は社会教育関係団体における職で司書・学芸員その他の社会教育主事補の職と同等以上の職として文部科学大臣の指定するものにあつた期間
  - ③官公署・学校・社会教育施設又は社会教育関係団体が実施する社会教育に関係のある事業における業務であつて、社会教育主事として必要な知識又は技能の習得に資するものとして文部科学大臣が指定するものに従事した期間（①又は②に掲げる期間に該当する期間を除く）
2. 教育職員の普通免許状を有し、かつ5年以上文部科学大臣の指定する教育に関する職にあつた者で、必要とする社会教育主事の講習を修了した者
3. 大学に2年以上在学し、62単位以上を修得しかつ大学において文部科学省令で定める社会教育に関する科目の単位を修得し、1の①～③に掲げる期間を通算した期間が1年以上になる者
4. 社会教育主事の講習を修了した者（1及び2に掲げる者を除く）で、社会教育に関する専門的事項について1～3に掲げる者に相当する教養と経験があると都道府県の教育委員会が認定した者

本学社会学科生および教育発達学科生は、上記3に記載される「社会教育に関する科目」を履修することができます。必要な科目を修得した方には、証明書を発行いたします。お求めになる場合は教務部までお問い合わせください。

**社会教育主事については、2020年4月より、『社会教育士』という新たな称号付与が予定されています。それに伴い、本学では2020年4月に社会教育に関する科目の一部改正が行われる予定です。詳細が決定しましたら、取得希望者向けに説明をします。**

## (教育発達学科)

※本資格の取得は国際教育コースに所属する学生を中心としていますが、他のコースに所属する学生であっても、所属しているコースで指示された科目を履修し、かつ年間履修制限を超えない範囲において必要な科目を履修し単位を修得すれば、本資格を取得することも可能です。但し国際教育コース以外のコースに所属する学生については、4年間の在学期間中に本資格の取得を保証するものではありません。

### 社会教育に関する科目

社会教育主事講習等 規程に定める社会 教育に関する科目	教育発達学科で開講している科目名 ( )内の数字はその科目の単位数		最低修得 単位数
生涯学習概論	生涯学習概論A (2)	生涯学習概論B (2)	必修 4単位
社会教育計画	多文化社会教育計画A (2)	多文化社会教育計画B (2)	必修 4単位
社会教育演習、社会教育実習 又は社会教育課題研究	多文化社会教育実習 (2)	多文化社会教育課題研究 (2)	必修 4単位
社会教育特講Ⅰ (現代社会と教育)	多文化共生教育 (2)		選択必修 12単位
社会教育特講Ⅱ (社会教育活動・事業・施設)	教育の制度と経営 (2)	教育心理学 (2)	
社会教育特講Ⅲ (その他必要な科目)	教育原論 (2) 教育相談の理論と方法 (2) 教育課程編成論 (2)	読書と豊かな人間性 (2) 情報メディアの活用 (2)	

※表は、2019年4月現在「社会教育主事任用資格」取得のために必要な科目です。

社会教育主事は、2020年4月より『社会教育士』という新たな称号付与が予定されており、2020年4月以降、上記科目の一部が変更されます。予定では、上記の表に加えて「生涯学習支援論 A/B」「社会教育経営論 A/B」の履修が必要になり、「多文化社会教育計画 A/B」は履修不要となります。詳細が決定しましたら、取得希望者向けに説明会を開催する予定です。

(注1) 社会教育に関する科目のうち、上記の表のように、必修3領域より12単位、選択必修より12単位、計24単位を修得する必要があります。

(注2) 『社会教育特講』は、Ⅰ、Ⅱ、Ⅲそれぞれから科目を修得することが望ましいです。

(注3) 「多文化社会教育実習」(通年2単位)を履修するには、前年度までに次の科目(3科目)を修得済みであることが前提になります。

- ① 「多文化共生教育」(2単位)
- ② 「生涯学習概論A」・「生涯学習概論B」のうち、少なくとも1科目2単位以上
- ③ 「教育の制度と経営」・「教育心理学」・「教育課程編成論」のうち、少なくとも1科目2単位以上

## 2. 社会福祉主事任用資格

### 社会福祉主事任用資格が取得できる学科

社会福祉主事任用資格は、すべての学科の学生が取得することができます。

### 社会福祉主事の職務

国、地方公共団体、社会福祉法人など社会福祉事業を経営する者は、福祉サービスを必要としている人たちが心身ともに健やかに育成され、または社会、経済、文化その他の活動に参加する機会が与えられ、その年令、環境、心身の状況に応じて、地域において必要な福祉サービスを提供できるようにしなければなりません。このことに基づき、地方公共団体は、福祉に関する事務所を設置しており、ここには社会福祉主事をおくよう社会福祉法において義務づけられています。

社会福祉主事は、その事務所において生活保護法、児童福祉法、母子及び寡婦福祉法、老人福祉法、身体障害者福祉法、及び知的障害者福祉法の定める援護、育成または更生の措置に関する事務を行うことを職務としています。

### 社会福祉主事任用資格を得るには

20歳以上の者で、人格高潔で思慮が円熟し、社会福祉の増進に熱意があり、かつ下記1～3のいずれかに該当する者が任用資格を得られます。**任用資格とは、公務員試験に合格して公務員となった者にあてはまるものであり、この要件が満たされなければ社会福祉主事にはなれません。**

1. 大学において厚生労働大臣の指定する社会福祉に関する科目を修め卒業した者
2. 厚生労働大臣の指定する養成機関又は講習会の課程を修了した者
3. 厚生労働大臣の指定する社会福祉事業従事者試験に合格した者

本学学生は、次ページに挙げる『**社会福祉法に定める科目**』を**3科目以上修得**することで、社会福祉主事任用資格を得ることができます。『社会福祉法に定める科目』に対し、『本学で開講している科目』を表記していますので、これらの科目を修得してください。

『本学で開講している科目』について、その科目を履修することができる学科を「○」で示しています、各科目の履修に際しては条件が付される場合もあります。詳しくは所属学部の履修要項でご確認ください。なお表では学科名称に略称を用いています。(LE: 英文学科、LF: フランス文学科、LA: 芸術学科、EE: 経済学科、EB: 経営学科、EG: 国際経営学科、SG: 社会学科、SW: 社会福祉学科、JU: 法律学科、JC: 消費情報環境法学科、JP: 政治学科、JG: グローバル法学科、KS: 国際学科、KC: 国際キャリア学科、PS: 心理学科、PE: 教育発達学科)

本資格の取得要件を満たしている方には、証明書を発行いたします。お求めになる場合は教務部までお問い合わせください。

社会福祉主事の資格に関する科目

社会福祉法に定める科目名	本学で開講している科目名	履修できる学科 (2019年度入学生)															
		LE	LF	LA	EE	EB	EG	SG	SW	JU	JC	JP	JG	KS	KC	PS	PE
社会福祉概論	社会福祉学概論 A・B								○								
	社会福祉学1 社会福祉学2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
社会福祉援助技術論	ソーシャルワーク 1A								○								
社会福祉調査論	社会福祉調査								○								
	社会調査の基礎								○								
	社会調査論										○						
社会福祉行政論	2213 社会調査法												○				
	社会福祉法制								○	○							
社会福祉行政論	福祉行財政と福祉計画								○	○							
社会保障論	社会保障論 A・B				○	○	○	○	○								
公的扶助論	公的扶助論 A								○	○							
児童福祉論	児童福祉論 A・B								○	○							
	子ども家庭福祉																○
家庭福祉論	家庭福祉論								○	○							
身体障害者福祉論	身体障害者福祉論								○	○							
知的障害者福祉論	知的障害者福祉論								○	○							
精神障害者保健福祉論	精神疾患とその治療																
老人福祉論	高齢者福祉論 A・B								○	○							
地域福祉論	地域福祉論 A								○	○							
法学	法学(日本国憲法を含む)1 法学(日本国憲法を含む)2	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○		○	○	○
	2309 法学原論													○			
民法	民法 A・B				○	○	○	○	○			○					○
	民法総則 1・2										○	○	○	○			
行政法	行政法 A・B				○	○	○	○	○								
	行政法 1-1・1-2										○	○	○	○			
	行政法 2-1・2-2										○	○	○	○			
経済学	経済学概論 1・2					○	○	○	○	○	○	○	○				
	財政学 1・2				○	○	○	○	○	○	○	○					
	ミクロ経済政策				○	○	○	○	○	○	○	○					
	マクロ経済政策				○	○	○	○	○	○	○	○					
	2205 経済原論													○			
社会政策	労働経済学 1・2				○	○	○	○	○	○	○	○					
	社会政策論 A・B								○								
心理学	心理学概論								○								
	心理学総論																○
社会学	社会学概論 A・B	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	社会学概論								○								
	2308 社会学原論													○			
教育学	教育の思想と歴史	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	
	教育原論																○
医学一般	医学知識								○								
リハビリテーション論	リハビリテーション論																○
介護概論	介護概論								○								

(注1) 『本学で開講している科目』がない『社会福祉法に定める科目』は上記の表に掲載していません。

(注2) 『本学で開講している科目』において、科目名の後にA・B、1・2が付されている科目は、2科目セットで修得しなければ『社会福祉法に定める科目』1科目と数えることができません。

(注3) 『社会福祉法に定める科目』の同じ区分で、本学で開講している科目を複数科目修得しても、1科目と数えます。(例えば、社会福祉学科生が「社会福祉学概論A・B」と「社会福祉学1・2」の合計4科目を修得した場合は、『社会福祉法に定める科目』の『社会福祉概論』1科目の修得と数えます。)

(注4) 『社会福祉学1・2』および「法学(日本国憲法を含む)1・2」は、明治学院共通科目にある科目を履修してください。

## 3. 児童福祉司任用資格

### 児童福祉司の職務

児童福祉法に基づき、児童相談所には児童福祉司をおくことが義務づけられています。

児童福祉司は、児童相談所長の命を受けて、児童の保護、その他児童の福祉に関する事項について、相談に応じ、専門的技術に基づいて必要な指導を行う等、児童の福祉の増進に努めることを職務としています。

### 児童福祉司に任用される要件

1. 学校教育法に基づく大学において心理学、教育学もしくは社会学を専修する学科又はこれに相当する課程を修め卒業した者であって、厚生労働省令で定める施設において1年以上児童その他の福祉に関する相談に応じ、助言、指導その他の援助を行う業務に従事した者
2. 社会福祉主事として2年以上、児童福祉事業に従事した者
3. 厚生労働大臣の指定する児童福祉司又は児童福祉施設の職員を養成する学校その他の施設を卒業し又は厚生労働大臣の指定する講習会の課程を修了した者
4. その他（略）

上記のいずれかに該当する者はこの任用資格が得られます。**任用資格とは、公務員試験に合格して公務員となった者にあてはまるものであり、この要件が満たされなければ児童福祉司にはなれません。**

本学社会学科生・社会福祉学科生・心理学科生・教育発達学科生は、卒業することで、上記1に定める「心理学、教育学もしくは社会学を専修する学科又はこれに相当する課程を修め卒業した者」であることとなります。その証明は卒業証明書で行うことができます。

児童福祉司任用資格の取得には、これに加えて「厚生労働省令で定める施設において1年以上児童その他の福祉に関する相談に応じ、助言、指導その他の援助を行う業務に従事」する必要があります。

## 2020年度生用 心理学部 履修要項 心理学科関係 変更・訂正箇所について

教育発達学科に関する内容の部分は、記載していません。青字は履修要項本文ではなくこの対照表における説明です。

新旧対照表

ページと 変更日	新	旧						
P.54 2020年 9月11日	卒業の認定・学位授与に関する方針(ディプロマ・ポリシー)と授業科目の関連表(能力要件表)  基礎科目 ①講義科目 PSCRL107 発達心理学： <b>選択必修</b> 「PSCRL107 発達心理学」の必修選択を 必修 から 選択必修 に	卒業の認定・学位授与に関する方針(ディプロマ・ポリシー)と授業科目の関連表(能力要件表)  基礎科目 ①講義科目 PSCRL107 発達心理学： <b>必修</b>						
P.54 2020年 12月7日	卒業の認定・学位授与に関する方針(ディプロマ・ポリシー)と授業科目の関連表(能力要件表)  基礎科目 ①講義科目 PSCRL201 調査法： <b>必修</b> 「PSCRL201 調査法」の必修選択を 選択必修 から 必修 に	卒業の認定・学位授与に関する方針(ディプロマ・ポリシー)と授業科目の関連表(能力要件表)  基礎科目 ①講義科目 PSCRL201 調査法： <b>選択必修</b>						
P.66 2021年 6月10日	〔6〕学科科目 専門科目 ① 講義科目 <del>PSADL304 生理心理学</del> 「PSADL304 生理心理学」を削除	〔6〕学科科目 専門科目 ①講義科目 <table border="1" data-bbox="1303 1193 2022 1241"> <tr> <td>3</td> <td>PSADL304 生理心理学</td> <td>2</td> <td>学期</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	3	PSADL304 生理心理学	2	学期		
3	PSADL304 生理心理学	2	学期					

ページと 変更日	新	旧							
	〔6〕学科科目 専門科目 ②実験・実習科目 <del>PSADP201 生理心理学実習</del> <b>「PSADP201 生理心理学実習」を削除</b>	〔6〕学科科目 専門科目 ②実験・実習科目 <table border="1" data-bbox="1317 352 2011 400"> <tr> <td>2</td> <td>\$</td> <td>PSADP201 生理心理学実習</td> <td>1</td> <td>学期</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	2	\$	PSADP201 生理心理学実習	1	学期		
2	\$	PSADP201 生理心理学実習	1	学期					
p.58 2021年 8月18日	<b>能力要件表</b> 生理心理学を削除								
p.59 2021年 8月18日	<b>能力要件表</b> PSADL318 家族心理学	<b>能力要件表</b> PSADL318 社会・集団・家族心理学Ⅱ							
p.59 2021年 8月18日	<b>能力要件表</b> 生理心理学実習を削除								

ページと 変更日	新	旧
p.63 2021年 8月18日	学科科目 基礎科目 ① 講義科目 PSCRL202 社会・集団・家族心理学Ⅰ	学科科目 基礎科目 ① 講義科目 PSCRL202 社会・集団・家族心理学
p.64 2021年 8月18日	<del>PSADL318 家族心理学</del> PSADL318 社会・集団・家族心理学Ⅱ	PSADL318 家族心理学
p.70 2021年 8月18日	生理心理学実習を削除	
p.70 2021年 8月18日	PSCRL202 社会・集団・家族心理学Ⅰ	PSCRL202 社会・集団・家族心理学

ページと 変更日	新	旧				
p.70 2021年 8月18日	<del>PSADL318 家族心理学</del> PSADL318 社会・集団・家族心理学Ⅱ	PSADL318 家族心理学				
p.72 2021年 8月18日	<p>以下の文言を追加。            &lt;本学で開講されている学科目は、必ずしもこの「指定科目」の名称と同じではない。その対比は次のとおりである。&gt;</p> <table border="1" data-bbox="405 576 1196 724"> <thead> <tr> <th data-bbox="405 576 725 616">指定科目等の名称</th> <th data-bbox="725 576 1196 616">開講科目の名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="405 616 725 724">社会・集団・家族心理学</td> <td data-bbox="725 616 1196 724">           社会・集団・家族心理学Ⅰ（*）            社会・集団・家族心理学Ⅱ（*）            （*）Ⅰ・Ⅱ両方を修得する必要がある         </td> </tr> </tbody> </table>	指定科目等の名称	開講科目の名称	社会・集団・家族心理学	社会・集団・家族心理学Ⅰ（*） 社会・集団・家族心理学Ⅱ（*） （*）Ⅰ・Ⅱ両方を修得する必要がある	
指定科目等の名称	開講科目の名称					
社会・集団・家族心理学	社会・集団・家族心理学Ⅰ（*） 社会・集団・家族心理学Ⅱ（*） （*）Ⅰ・Ⅱ両方を修得する必要がある					